平 成 ２ ３ 年 度

北海道における観光振興を目的とした
受入環境整備に関する調査
報　告　書

平成２３年１２月

北海道運輸局

目　次

１．調査の前提 1
１－１．調査の目的..... 1
１－２．調査対象及び調査内容..... 1
１－３．調査対象イベントの概要..... 3

２．事前調査の実施 4
２－１．外国人観光客受入に必要な整備..... 4
２－２．事前調査..... 7
２－３．ヒアリングのまとめ..... 9

３．受入環境整備 17
３－１．受入環境整備の概要..... 17
３－２．整備内容とモニターツアー..... 20
（１）富良野市　北海へそ祭り..... 20
（２）登別市　地獄まつり..... 30
（３）釧路市　イオマンテの火祭り..... 37
（４）白老町　ポロトコタンの夜..... 41

４．整備の効果 47
４－１．効果測定の概要..... 47
４－２．外国人観光客へのインタビュー結果..... 50
４－３．外国人モニター調査結果..... 55
（１）富良野市　北海へそ祭り..... 55
（２）登別市　地獄まつり..... 66
（３）釧路市　イオマンテの火祭り..... 75
（４）白老町　ポロトコタンの夜..... 83

５．今後の課題 89

【関連資料】 92

1. 調査の前提

1－1. 調査の目的

観光立国実現のためには、海外プロモーションによる認知度向上を通じて訪日旅行に関する期待値を高めるとともに、外国人観光客の利便性・満足度を向上させることが重要である。現在、外国人観光客の受入れのための環境整備については、自治体や民間事業者等によって様々な取組がされているが、未だ十分とは言えない部分があり、更なる取組が必要な状況にある。

このため、観光客が集中するイベントにおける外国人観光客の受入環境整備を実施することで地域における受入環境整備の取組みを促進するとともに、外国人観光客の増加により地域のイベントを盛り上げることで東日本大震災による風評被害を払拭し、観光振興により地域を活性化することが重要である。

以上を踏まえ、本調査においては、観光客が集中するイベントにおける外国人観光客の受入環境の改善策をとりまとめ、その有効性を検証するとともに、次年度以降も継続的な取り組み可能となるよう課題を整理することを目的とする。

1－2. 調査対象及び調査内容

本調査の対象イベントは、富良野市「北海へそ祭り」、登別市「登別地獄祭り」、釧路市「イオマンテの火祭り」、白老町「ポロトコタンの夜」の４つである。

これらの 4 つのイベントに対して、①事前に現状と課題を整理し（事前準備）、②実際にその対策を行い（受入環境の整備）、③外国人モニターによりその効果を測定する（整備後の効果測定）という流れで、事業を実施した。

図 1-1　調査対象イベントの位置

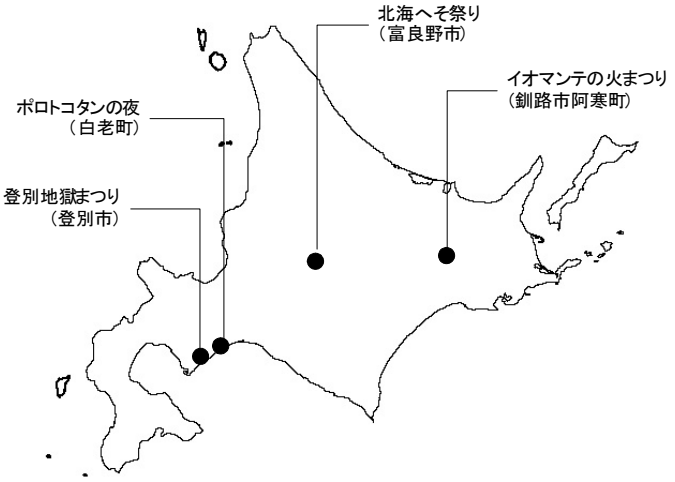


表 1-1　対象イベントと調査内容

<table>
<tr><th>対象市町</th><th>対象イベント</th><th>調　査 内 容</th></tr>
<tr><td>(1)富良野市</td><td>北海へそ祭り

調査日（祭り開催日）
７月２８日～２９日</td><td rowspan="4">①事前準備
・外国人観光客の受入れに対応するため、観光客が集中するイベントにおける多言語に対応した情報提供等の実施状況や外国人観光客を受入れる体制の現状を整理する。
・上記整理を踏まえ、改善が必要と想定される箇所について、多言語対応のインフォメーションセンターの設置や多言語によるホームページ、パンフレット等の作成など、外国人観光客の受入れ及びイベントへの参加が促進される方策を検討する。

②受入環境の整備
・事前調査を踏まえ、外国人観光客の受入れを実現するための多言語対応のインフォメーションセンターの設置や多言語によるホームページ、パンフレット等の作成などによる言語バリアを解消するための対策を実施する。また、外国人観光客の受入れやイベントの参加が可能となるような体制を構築する。

③整備後の効果測定
・整備後の状況を外国人観光客の視点で調査し、満足度等の事業効果を測定する。その際には、留学生やマスコミ関係者等の在日の外国人等をモニターとして活用した実地調査を行うこととする。
・事業の実施状況を踏まえ、次年度以降も継続的な取組が可能となるよう課題等を整理する。</td></tr>
<tr><td>(2)登別市</td><td>登別地獄祭り

調査日（祭り開催日）
８月２７～２８日</td></tr>
<tr><td>(3)釧路市</td><td>イオマンテの火まつり

調査日：８月５日
（祭りの開催月日は、
7 月 29・30 日、
8 月 5・6・11・12・13 日）</td></tr>
<tr><td>(4)白老町</td><td>ポロトコタンの夜

調査日：９月１０～１１日
（祭りの開催期間は、
9 月 1 日～10 月末日まで）</td></tr>
</table>

1－3. 調査対象イベントの概要

(1)富良野市「北海へそ祭り」

「北海へそ祭り」は、お腹に顔を描く図腹踊りで知られるユニークな祭りで、その発祥は昭和 44 年 7 月に制定された『富良野市民憲章』に遡る。市民憲章の中に、「私達は北海道の中心標の立つ富良野市民です」の一文があり、これを郷土芸能に具象して将来の観光や商業の発展に結びつけるイベントとして考案された。

初回は踊り手を集める苦労もあったようで、嫌がる若者たちをなだめすかしたりして 11 人を踊らせたというエピソードが伝えられている。その後、多くの人々の苦労と市民の協力により、富良野市の伝統文化として定着し、二日間で約 4,000 人の踊り手と 7 万人の観光客で賑わう、夏の北海道を代表する祭りとして広く知られるようになった。

(2)登別市「登別地獄まつり」

地獄谷には、年に一度、地獄谷の地獄の釜のふたが開き、閻魔大王が大勢の赤鬼・青鬼を従えて温泉街に現れるという伝説がある。その物語に因んだ登別最大のイベントが「登別地獄まつり」で、毎年 8 月の最終土、日曜日に開催される。

地元北海道はもちろん全国各地から多くの観光客を集めるこのまつりには、「前触れ太鼓」や重さ 1 トンにもなる「鬼みこし」、また「閻魔大王のからくり山車」を中心とした「地獄大行列」「鬼踊り大群舞」、さらに最終日の夜には、地獄谷の谷底から炸裂する「昇天花火」など、ここ登別でしか味わえない迫力満点のアトラクションが続く。

(3)釧路市「イオマンテの火祭り」

イオマンテとは、アイヌ語で「熊の霊送り」のことで、山で生け捕った小熊を飼育した後、その霊を神の国「天上」に送る儀式である。狩猟民族だったアイヌ民族にとって、熊は天上に住まう神が肉や毛皮をお土産に地上に降りてきた姿であると信じられている。

「イオマンテの火祭り」は、9 月 1 日から 10 月 30 日までの期間中（平成 23 年度)、このような伝統的な儀式を独自の演出で再構成したイベントで、“かがり火”を囲んだ幻想的な野外ステージの中で、アイヌ民族に伝わる古式舞踊などが公演される。

（4）白老町「ポロトコタンの夜」

「ポロトコタンの夜」とは、白老のアイヌ民族に伝わる伝統的な「祈り」「歌」「踊り」「食文化」を夜の幻想的な雰囲気の中で体験するアイヌ民族博物館（しらおいポロトコタン）独自の特別プログラムで、2003 年から毎年夏休みの夜に開催している。

ポロトコタンを幻想的にライトアップし、会場となるチセ（アイヌの伝統的家屋）にはかがり火や松明で観光客を迎える。博物館も特別開館し、学芸員を中心とする専門スタッフが展示物を丁寧に解説する。

表 1-2　対象イベントの利用者数の推移

（人）

イベント名	平成１９年	平成２０年	平成２１年	平成２２年	平成２３年
北海へそ祭り	75,000	77,000	79,000	70,000	74,000
登別地獄まつり	40,500	42,500	42,600	52,000	53,700
イオマンテの火祭り	24,876	16,438	15,900	7,347	9,422
ポロトコタンの夜	596	515	719	541	963

表 1-3 対象4市町の外国人宿泊客数

＊網点は特に多い外国人の国籍。地域によって訪れる外国人の国籍に違いが見られる。

富良野市

月別	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
22年度	2,520	2,296	3,884	18,217	5,514	575	1,260	0	33	561	65	20	567	271	10,146	2,680	48,609
21年度	1,763	2,875	2,186	14,154	3,820	239	843	−	55	673	75	24	677	149	7,519	1,493	36,545
20年度	1,277	4,094	6,072	17,328	2,747	619	347	−	53	437	81	35	446	84	11,213	1,502	46,335

登別市

月別	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
22年度	19,563	76,262	63,976	32,023	16,014	5,661	1,165	1	362	44	40	47	1,099	68	106	5,093	221,524
21年度	14,028	42,786	79,175	21,897	10,212	445	400		94	27	39	25	1,629	69	115	6,405	177,346
20年度	8,471	47,910	95,231	29,434	16,469	2,550	275		210	53	47	22	5,393	26	95	4,042	210,228

釧路市

月別	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
22年度	14,388	3,618	21,149	6,095	5,599	2,290	402	58	583	228	101	39	556	220	170	2,370	57,866
21年度	12,949	3,719	23,291	6,876	5,397	1,135	238	0	1,107	101	194	330	857	73	242	3,490	59,999
20年度	3,354	8,471	28,103	7,076	6,147	1,054	314	−	248	235	101	40	836	373	442	2,441	59,235

白老町

月別	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
22年度	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	8	42
21年度	4		2	4					2		2		1	2	6	1	24
20年度	27	637	2	4	0	0	0	−	2	4	4	0	7	2	2	1	692

出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書

2. 事前調査の実施

2－1. 外国人観光客受入に必要な整備

海外から訪れる観光客がイベントを実際に見学・参加する際に必要と考えられる情報やその提供ツールを整理すると表２－１のようになる。

本事業では、このような外国人観光客が地域の祭りやイベントを楽しむために必要となる情報やその提供方法等を整理するとともに、祭りへの誘客から当日の観覧・参加、さらには周辺観光へ誘導するための環境整備にも重点を置いて、各地域の受入環境整備内容を検討した。

表 2-1　受入環境整備の内容

	整備内容	外国人観光客が必要とする情報
発地情報（誘客）	WEB サイト	・祭りの基本情報 （趣旨、開催時期、楽しみ方、アクセス情報など）
		・イベント参加の事前エントリー
		・祭り以外の観光情報 （各観光施設、観光拠点から現地までの交通手段、移動距離、時間など）
着地情報（観光の充実）	祭りパンフレット	・祭りの主旨
		・祭り会場マップ（トイレやインフォメーションの位置）
		・祭り以外の観光情報 （各観光施設、観光拠点から現地までの交通手段、移動距離、時間など）
		・祭りへの参加方法（当日飛び入りの有無）
	インフォメーションサイン	・祭り会場における案内・誘導サイン
	インフォメーションブース	・多言語対応パンフレットの配布
		・外国語対応できる人員の配置
	満足度向上ツール	・外国人のための体験参加機会
		・同時通訳、翻訳システム、など

２－２. 事前調査

(1)ヒアリングの実施

外国人観光客の地域イベントへの参加について、必要と思われる情報ツールや現状における課題や希望などについて、事前に地元の観光協会にヒアリングを行った。主なヒアリング項目は以下の通りである。

ヒアリング項目

1. 祭りＨＰの整備状況（外国語対応（対応言語））
2. 祭りパンフレットの整備状況（外国語対応（対応言語））
3. 祭り観覧者における外国人観光客の割合（今までの割合と今後の見込み）
4. 祭り当日、会場における外国人対応はしているか（インフォメーション・サイン類）
5. これまで祭り当日に、外国人対応で困ったこと
6. 外国人の祭りへの参加（出場者側）の増加を望むか
7. 今後外国人観光客の増加を見込んでいるか
8. (祭り以外で)地域の観光における外国人観光客受入れの課題、今後整備したいことは何か

(2)ヒアリング結果

ヒアリングの結果は次頁の通りであった。

表 2-2 企画提案 ヒアリング結果

	質問	富良野 （へそ祭り 7/28-7/29）	登別（地獄祭り 8/27-8/28）	阿寒（イオマンテの火祭り 9/1-10/30）	白老（ポロトコタンの夜 7/29-8/31）
1	祭りHP の整備状況	・日本語のみ	・日本語のみ。多言語サイト作成中	・阿寒湖観光協会 HP にて、4 カ国語（韓、中繁、中簡、英） ページ開設	・未対応
2	祭りパンフの整備状況	・日本語のみ ・飛び入り参加用趣旨・PR 欲しい ・飛び入りの仕方英語版欲しい	・未対応	・3 カ国語（中繁、中簡、英）パンフ配布	・未対応
3	外国人観光客の割合	・1 千～2 千人/7 千人 （インターナショナルチームエントリー 50～100 人）	・一般客参加型に外国人 50 名程度 ・インフォメーションプラザに立ち寄った外国人 130 人	・1 割程度	・今まではゼロに等しい状況。今後は誘客予定
4	会場での外国人対応	・サイン・インフォメーションは日本語のみ ・質問には英語対応 ・インターナショナルチームには、通訳スタッフあり。	・温泉街にインフォメーションプラザ有り（外国人対応） ・祭りに対しての外国語アナウンス・サインは未対応	・会場入口に、外国語表記したボードを設置。	・未対応
5	外国人対応で困ったこと	・写真撮影のためパレードに入ってくる。案内・警備が大変 ・「ようこそ JPN ブース」設置しているが、看板の多言語、案内がないため周知できていない。 ・飛び入りの外国人対応（言葉） ・家族連れの多い外国人用にキッズ用の道具が不足している	・外国語対応のチラシがないため、各ホテルでの外国人観光客への説明に苦慮している。	・FM ガイドシステムの使い方の周知に課題あり。 （チューニングを変えてしまう。故障と勘違いされる）	・今まで外国人客が来場していなかったことから特になし
6	外国人の増加を望むか	・望む	・登別温泉は外国人観光客の割合が 15%あり、他の観光地と比較して大きい。また、地獄祭りは北海道を代表するお祭りであり、是非外国の方々にこの日本特有のお祭りを体験・参加していただきたい。	・「国際滞在観光地化」を目標 ・国際理解という側面も含めて重要と認識	・ 鑑賞していただくイベントのため、外国人の参加（出場）は望まない
7	外国人の増加見込み	・宿泊の 1 割を外国人にしたい ・PR では東アジアに反応がいい。地域の祭りへの参加は増えていくと思う。へそ祭りは富良野のみでの開催。強みと考えている。	・振興市場である中国をはじめ、タイ・マレーシアなどの東南アジアからの観光客増を図りたい。	・将来的に「（仮称）阿寒湖温泉アイヌシアター」整備をはじめ、福島原発事故の終息、ミシュラングリーンガイドの 3 つ星評価の効果、中国などアジアにおけるアウトバウンド傾向の高まり、VJ 誘客効果、高速道路整備などから勘案すると割合も人数も増大すると考えている。	・外国人観光客の増加を見込んでいる
8	外国人受入れの課題・今後整備したいこと	・インフォメーション、プロモなど多言語対応が可能なスタッフの常駐 ・HP の充実、フリーアクセス等のインターネット環境の整備 ・マーケティングの継続 ・インタナショナルで普遍的なサービスを追求しつつ、ローカル色は失わないホスピタリティ ・道路、案内看板の多言語化（ひとり歩きできるように）	・外国人観光お客の個人旅行の増加に伴い、JR やバスなどの公共交通機関の利用が増えているが、交通拠点や主要観光施設からの移動時間、移動手段等がわかりづらい。 ・アレルギー、ベジタリアン、宗教上の食習慣、食文化などの対応が必要。 ・外国語に対応した専門ガイドが不足している。 ・各施設やバス停留所にナンバー振りや色分けなどを行い、マップと統一させることでわかりやすさを向上させ、利便性を向上させる。 ・交通拠点や主要観光施設へのエリア周辺の概要を載せた地図案内表示の設置。 ・主要な観光施設への移動手段、移動時間などが表記された案内板の設置 ・多言語対応のメニューや食材表示 ・観光資源の周辺専門知識を習得した、外国語対応のガイドの育成。	・まちなか及び自然散策路等における国際対応サイン類整備や ICT を活用した移動支援サービスの提供、充実。 ・レストラン等の飲食施設の充実など、滞在観光地にふさわしい受入環境整備 ・2 次交通網の維持存続、拡充など	・ポロトコタンの夜に行う演目の説明パンフレット（英語） ・アイヌ民族博物館 紹介用パンフレット（韓国語） ・アイヌ民族博物館 紹介用DVD（英語） ・通訳

2－3. ヒアリングのまとめ

(1)富良野市

■受け入れ環境整備の現状と課題

- 富良野は、道内外の知名度は高く、へそ祭りの外国人、特に東アジアの観光客の反応が良い。FIT の主要な観光目的地であるため、富良野観光圏は外国人観光客(FIT)へ対応した交通案内整備が進められている。今後、海外や道内各拠点での誘客に力を入れることで、より多くの外国人観光客が訪れる可能性が高い。
- ガイドなしで訪れる外国人観光客（FIT）には、特に祭り会場内のインフォメーションやサイン類の整備が必要とされる。
- へそ踊りへはインターナショナルチーム(50～100 人)が参加しているが、へそ祭りの醍醐味であるへそ踊りへの当日参加を促したい。そのためのインフォメーションや必要備品の整備が求められている。

■現地の様子

駅前の観光案内所

フラノマルシェ内の観光案内所

会場となる町並み

昨年開催の様子

■整備方向

以上のように FIT 主体の多様な外国人観光客が訪れることから、多言語化による WEB サイト、パンフレット、インフォメーションブースを体系的に整備するものとする。

表２－３　今回事業で整備するもの（富良野へそ祭り）

発地情報（誘客）

WEB サイト

↓

■「北海へそ祭り」の専用 HP に、お祭りの主旨や参加方法を説明した多言語版を整備する。併せて動画なども整備する。
◎言語：英・韓・中簡・中繁体字

祭りパンフレット

↓

■会場案内や飛び入り参加用の趣旨・PR を充実させる。
「北海へそ祭り」パンフレットの作成
◎言語：英・韓・中簡・中繁体字
◎部数：各 5,000 部

インフォメーションサイン

↓

■会場サインや記念撮影のブースに英語を併記する

インフォメーションブース

↓

■既存の「ようこそ JAPAN ブース」に案内看板の多言語版を整備する。

満足度向上ツール

北海へそ祭りでは、飛び入り参加が可能であるため、外国語版による参加方法や PR が必要

↓

■インフォメーションブースならびにパンフレットで PR を行う。
■飛び入り参加受入れのために必要な消耗品・備品を充実させる。

(2)登別市

■受け入れ環境整備の現状と課題

- 外国人観光客には温泉街としての知名度が高く、登別温泉の観光客の 15%が外国人観光客となっている。
- 地獄祭りは夜がメインのため、お祭りに来るのは宿泊客がほとんどである。宿泊予約の関係から、祭りの PR は旅程決定時期に合わせる必要がある。
- 温泉街には外国語対応したインフォメーションプラザが設置され、周辺観光ならびに祭りの情報はインフォメーションプラザでも提供できるが、ホテル等宿泊施設での案内ツールが不十分である。
- 鬼踊りの大群舞への当日参加は外国人観光客が 50 名程度。観光協会では当日参加のインフォメーションを徹底して、参加者を増やし楽しんでもらいたいとの意向がある。
- 温泉街の案内サインの多言語化が始められているが、基本情報の表現の統一（インフォメーションサインや手洗いなど）に課題がある。当日の会場案内も未整備であるので、ガイドなしの FIT の観光客のためにサイン等の整備が求められている。

■現地の様子

インフォメーションプラザ

登別観光協会入口

商店街に設置されているサイン

バス乗り場に設置されているサイン

■整備方向

本イベントに関する登別市の外国人対応（多言語）については、これまでインフォメーションプラザでの情報提供のみであったが、今回、多言語によるパンフレット作成や現地での案内誘導など、現場に即した情報提供を行い、イベント利用者に対して便宜を図るものとする。

表２－４　今回事業で整備するもの（登別地獄まつり）

WEB サイト	現在、観光協会ホームページの多言語化を進めているため、本事業では特に作成は行わない。
↓	
祭りパンフレット	■閻魔大王の物語に因んだ、多彩な演目を紹介するパンフレットを作成。 ◎言語：英・韓・中簡・中繁体字 ◎部数：各 2,000 部 ■地獄まつりは体験・参加型の祭りであるため、飛び入り参加が可能な演目や参加方法コンテストの紹介を充実させる。
↓	
インフォメーションサイン	■インフォメーションプラザ付近やインフォメーションブースに案内サインを設置する。
↓	
インフォメーションブース	■温泉街の外国語対応のインフォメーションプラザで、祭りの日程および飛び入り参加の案内を積極的に行う。 ■パンフレットで紹介する会場マップにインフォメーションの場所を分かりやすく明記し連動を図る。 ■案内スタッフを会場内に回遊させる。 （英語・中国語）
↓	
満足度向上ツール	■一般参加型の鬼踊り大群舞で、より多くの外国人観光客に楽しんでもらえるよう、浴衣の貸し出しなどを行い、満足度向上を図る。

(3)釧路市

■受け入れ環境整備の現状と課題

- 道東の代表的観光地である阿寒湖畔には多くの外国人観光客が訪れており、これに対応する形で多言語によるホームページ、パンフレット等による情報提供が行われてきている。
- 方面別ではアジア各国からの団体客が多いが、ミシュラングリーンガイド 3 つ星の獲得を機に、FIT の増加も含め今後さらに多くの外国人が訪れることが予想される。
- アイヌ文化を紹介するアイヌコタンではアイヌ文化に触れることができるが、イオマンテの火祭りでは、見学の際、祭りの趣旨や文化についての説明の言語バリアフリー化をいかに図っていくかが課題となっている。
- そのため、平成 24 年 11 月の「(仮称) 阿寒湖温泉アイヌシアター」のオープンに向けて、祭りの解説等に関する多言語対応のための投影システムの導入が検討されていた。

■現地の様子

まつり会場の様子

建設予定のアイヌシアター

■整備方向

阿寒湖温泉では web 及びパンフレット当の印刷物は、すでに多言語化されている状況にあることから、それ以外の面で現在一番大きな課題となっているイベント内容の解説に関して、映像を使った多言語表示を行うこととする。

表２－５　今回事業で整備するもの（登別地獄まつり）

発地情報（誘客）

WEB サイト	阿寒観光協会 HP において 4 ヶ国語（英・韓・中簡・中繁）が開設されているため、本事業では整備は行わない。
↓	
祭りパンフレット	多言語化（英・中簡・中繁）されており、温泉街内の観光案内所で配布されている。
↓	
インフォメーションサイン	会場入口に外国語表記したボードを設置しているため、本事業では整備は行わない。
↓	
インフォメーションブース	観光案内所には、英語が話せるスタッフが常駐。中国語・韓国に関しては、阿寒湖 VJCS のメンバーが非常勤で対応している。
↓	
満足度向上ツール	「（仮称）阿寒湖温泉アイヌシアター」の整備に伴い、今後は室内で実演されることとなる。観客の満足度を向上させるシステムを構築する。 ■投影システムに必要な機材を購入（リース）する。 ◎プロジェクター、ケーブルなど ■投影システムのシナリオ作成の協力を行う。 ◎阿寒湖 VJCS メンバーをサポートしながら、演目（プログラム）に合わせたシナリオを作成 ■外国人モニターによるシステム・字幕の検証・改善を行う。 ◎実演時の字幕投影による案内説明の有効性の検証 ◎違和感のない字幕内容、投影タイミング等の検討

着地情報（観光充実）

（４）白老町

■白老町の現状

- 現在、ポロトコタンの夜への外国人観光客の来場はして多くはないが、その資源的特性からこのイベントに興味を持つ外国人は少なくないと思われる。
- しかし、アイヌ民族博物の多言語化はある程度進んでいるものの、ポロトコタン全体の案内やイベントに関しては、パンフレット、ＷＥＢともほとんど多言語化されていないのが現状である。
- また、ポロトコタン周辺には、大型宿泊施設がないため、主に札幌からの日帰り観光となる。このような状況のなか、町の特産品である白老牛が町内の飲食店で味わえる夕食券とセットになったチケットがコンビニで購入できるようにするなど、最近積極的な誘客を図りつつある。
- このようなことから、札幌の外国人宿泊者を主な対象に、イベント（「ポロトコタンの夜」）の案内とチケット購入方法（コンビニで購入できること）を周知していくことが一つの課題となっている。

■現地の様子

アイヌコタン入り口

アイヌコタン内部

■整備方向

これまで決して十分とはいえなかったな Web サイト、パンフレット、インフォメーションサイン及びアイヌ民族博物館の解説パンフレットの多言語化を図るものとする。

表２－６　今回事業で整備するもの（登別地獄まつり）

発地情報（誘客）

着地情報（観光充実）

WEB サイト	「アイヌ民族博物館」HP は多言語化されており、アイヌの歴史・文化についても紹介されているが、イベントの詳細は掲載されていない。「ポロトコタンの夜」専用 HP の多言語化を図り、イベント自体の情報を積極的に提供する必要があるが、本業務では多言語化したパンフレットをダウンロードできるようにする。
↓	
祭りパンフレット	■「ポロトコタンの夜」を紹介するパンフレットを作成する。各演目の紹介だけでなく、札幌からのアクセス情報や申込み方法を充実させる。 ◎言語：英・韓・中簡・中繁体字 ◎部数：各 5,000 部
↓	
インフォメーションサイン	会場には外国語表記のサインは整備されていないため、特に必要だと思われる案内所やトイレの案内、イベント会場への誘導サインを整備する。
↓	
インフォメーションブース	イベントのためのブースは特にないため、既存の案内所での外国語対応が今後の課題となる。本業務では整備は行わない。
↓	
満足度向上ツール	鑑賞を目的とするイベントのため、外国人の参加はできないが、アイヌ民族を紹介するパンフレットや映像を充実させることでアイヌの文化に関心を持ってもらう。 ■アイヌ民族博物館 紹介パンフレットと電子データを作成する。 ◎言語：中国語（繁体語）　◎部数： 5,000 部 ■アイヌ民族博物館 紹介ＤＶＤを作成する。 ◎言語：英語　◎部数： 500 枚程

３．受入環境整備

３－１．受入環境整備の概要

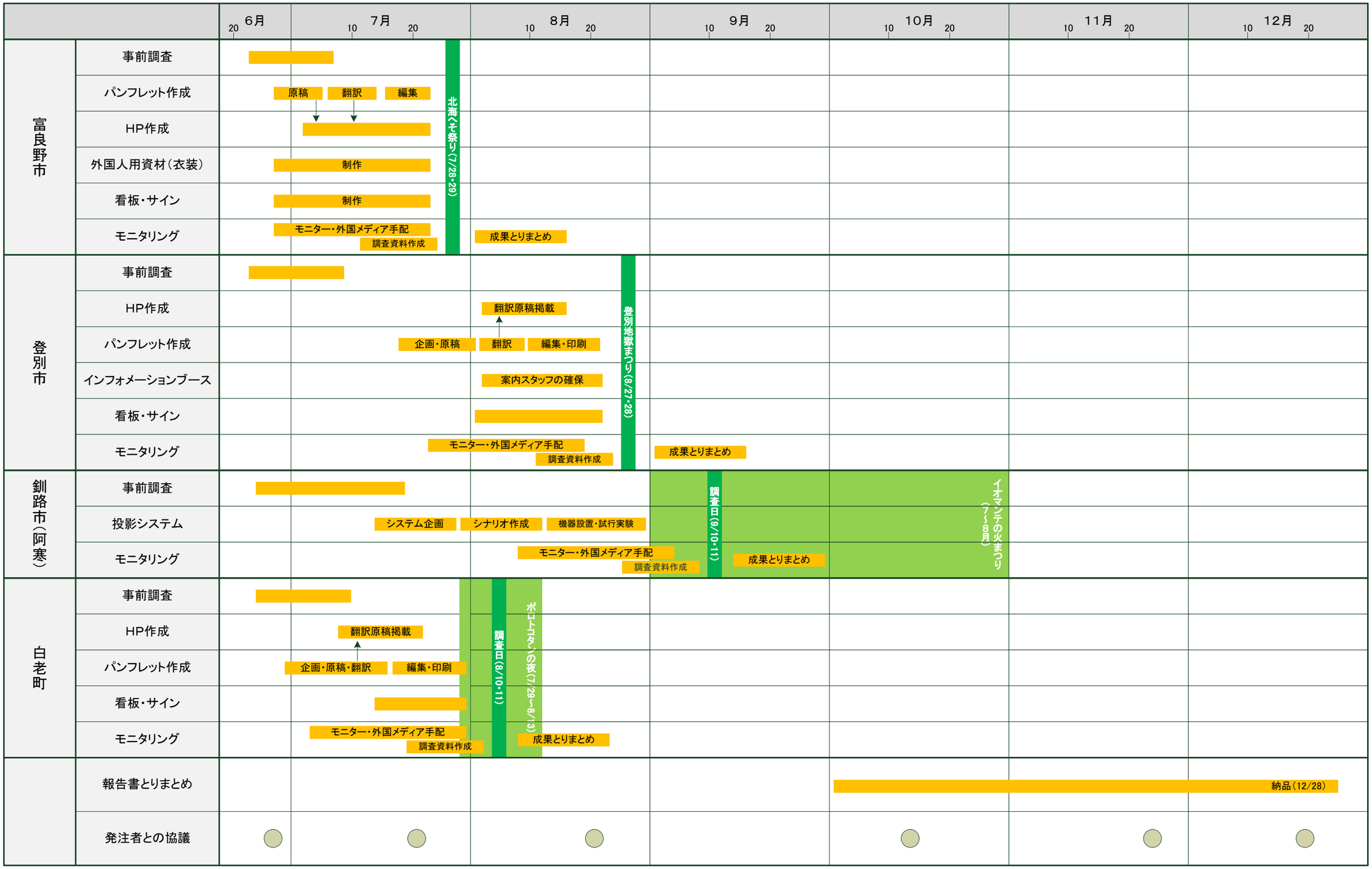
地域の課題を踏まえ、地域との協議により決定した外国人観光客受入環境整備の具体的内容は、表３－１に示した通りである。

また、各イベント別の受入環境整備の企画、設計、制作（整備）、効果測定のスケジュールを表３－２に示した。

図 3-1　各地域における受入環境整備の概要

	整備内容	外国人観光客が必要とする情報	富良野市	登別市	釧路市	白老町
			北海へそ祭り	登別地獄まつり	イオマンテの火まつり	ポロトコタンの夜
発地情報（誘客）	WEB サイト	・祭りの基本情報	多言語WEBサイト【英・韓・繁・簡】	―	―	多言語WEBサイト【英・韓・繁・簡】
		・祭り以外の観光情報	〃	―	―	―
		・イベント参加の事前エントリー	〃	―	―	―
	祭りパンフレット	・祭りの主旨やプログラムなど	多言語パンフレット【英・韓・繁・簡】 	多言語パンフレット【英・韓・繁・簡】 	―	多言語パンフレット【英・韓・繁・簡】
		・祭り会場マップ	〃	〃	―	―
		・祭り以外の観光情報	〃	―	―	―
		・祭りへの参加方法	〃	多言語パンフレット【英・韓・繁・簡】	―	―
	インフォメーションサイン	・祭り会場における案内・誘導サイン	記念撮影ボード【英】 ようこそ富良野ブース 案内サイン【英・韓・繁・簡】 会場案内サイン【英】 （一部に韓・繁・簡） 	案内所前インフォメーションサイン 	―	イメージ看板 ポロトコタン案内板
着地情報（観光の充実）	インフォメーションブース	・多言語対応パンフレットの配布	ようこそ FURANO ブース	地獄まつりインフォメーションブース	案内用テント設営	―
		・外国語対応できる人員の配置	市役所臨時職員（韓国・中国）が常駐	同ブースにおいて4カ国語4人配置	―	―
	満足度向上ツール	・外国人のための体験参加機会	浴衣着付け体験 図腹絵パフォーマンス体験 おりがみ教室 お茶席コーナー へそ将棋大会	鬼踊り大群舞 鬼みこし暴れ練りこみ	―	―
		・同時通訳、翻訳システム	―	―	多言語解説スクリーンの設置	―
		・関連施設等の多言語サービス	―	―	―	アイヌ民族博物館紹介パンフレット アイヌ民族博物館紹介DVD

図3-2　北海道における観光振興を目的とした受入環境整備に関する調査　スケジュール



３－２. 整備内容とモニター調査

(1) 富良野市　北海へそ祭り

①制作物

■WEB サイト

　これまで日本語だけだった『北海へそ祭り』の公式サイトの中に、英語、韓国語、中国語（簡体字)、中国語（繁体字）の４カ国語のページを設け、公開した。

図３－３
北海へそ祭り公式サイト
（英語版）

北海へそ祭りの歴史やその関連見学スポット、また、へそ踊りでお腹に描く図腹の書き方などが多言語でかつビジュアルに紹介されており、外国人観光客が見てもわかりやすい内容となっている。

■祭りパンフレット

北海へそ祭りを見学に来た外国人に配布する外国語のパンフレットを、同じく英語、韓国語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）の４カ国語で作成した。パンフレットは、会場で持ち歩くことを考慮して、Ａ３判両面８つ折りとした。

[制作部数] 各言語 500 部

図３－４　祭りパンフレット（簡体字版）

■インフォメーションサイン

祭り会場の入り口部分に、英語併記の高さ 2.4 メートルの記念撮影ボードを設置した。この看板前では、記念写真を撮る多くの祭り見学者の姿が見られた。

図３－５　記念撮影ボード

図３－６　ようこそ FURANO ブース案内サイン

図３－７　会場インフォメーションサイン

【看板仕様】

・木枠組、表面ポリ板
・表面塗装
・W900 × H1800
・1種4セット（4箇所に設置）

■インフォメーションブース（ようこそ FURANO ブース）

昨年も外国人を含む一般客用に開設されていたインフォメーションブース（ようこそ FURANO ブース）を、本年は多言語表記の看板、表示板等の設置により、特に外国人に親しみやすくして、その利便性を図った。

ブースには、浴衣着付け体験コーナーやおりがみ教室、富良野高校茶道部オープンお茶席コーナーなどがあり、多言語標記でより日本の文化を理解してもらうことを目指した。

「ようこそ FURANO ブース」看板

富良野高校茶道部オープンお茶席コーナー

浴衣着付け体験コーナー

おりがみ教室コーナー

図３－８　ようこそ FURANO ブースにおける各コーナー名表示サイン

■満足度向上ツール

訪れた外国人観光客により深く祭りを楽しんでもらうために、祭りへの参加を呼びかけるとともに、祭り参加者が着用できるへそ踊りの笠を購入し、提供した。

へそ踊りの笠

笠をかぶって踊る光景

②モニターツアーの実施

以下の８人の外国人によるモニターツアーを実施し、今回整備したパンフレット、看板等に実際に接した印象や意見をもらい、整備効果の測定を行った（意見のまとめは、「４．整備の効果」で詳述）。

■参加者

劉　志堅	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館　主席領事
範　淑琴	中国	同上夫人
馬　傑	中国	新華通信社東京支社　特派員
李　雪廸	中国	同上カメラマン
オウ　マンエイ	中国	北大留学生
チュエ　リツテイ	台湾	北大留学生
チェ　ヘジン	韓国	北大留学生
ニコル　シ	シンガポール	北大留学生

■工程

日次	月日	時間	交通手段	日　程
1	7/28(木)	10:15	借上車	札幌駅北口集合
		11:40		新千歳空港
		15:00		富良野到着（ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰ畑見学）
		16:00		全体ﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ(新富良野ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ内)
		17:00		へそ踊り体験ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾁｰﾑに２名参加
		18:00		残り留学生ﾓﾆﾀｰ２名は、会場内でｱﾝｹｰﾄ調査
				中国領事夫妻は会場来賓席で見学
				ﾒﾃﾞｨｱ２名は会場内で自由取材
		20:30		雨天につき途中、まつり中止
				宿泊：新富良野プリンスホテル
2	7/29(金)	10:00		留学生４名はへそ祭り会場
				YOKOSO　FURANO ﾌﾞｰｽでｱﾝｹｰﾄ調査
				中国領事祭り会場視察
				ﾒﾃﾞｨｱ２名は祭り会場視察後、富良野近郊取材
		13:00		
		14:10	JR	富良野発
		16:28		札幌着

■当日の会場の様子（1 日目）

富良野駅前　観光案内所

観光案内所に置かれたパンフレット

祭り会場でのパンフレット配布

パンフレットを見入る外国人観光客

祭り会場（パレード直前）

パレード風景

パレード風景

パレード風景（インターナショナルチーム）

■当日の会場の様子（2日目）

太鼓の演奏

赤ちゃんはいはいレース

大会本部

祭りに訪れた外国人観光客

モニターによる観光客アンケート風景

同左

(2) 登別市　地獄まつり

①制作物

■祭りパンフレット

今回新たに外国語表記の「登別地獄まつり」パンフレットを作成した。言語は、英語、韓国語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）の４カ国語である。

図３－９　祭りパンフレット（写真は韓国語版）

赤を基調にしたデザインと簡潔な解説でまとめた。サイズは A4 判で 3 つ折り。

祭り会場を自由に見てもらうために、わかりやすい案内地図を盛り込んだ。

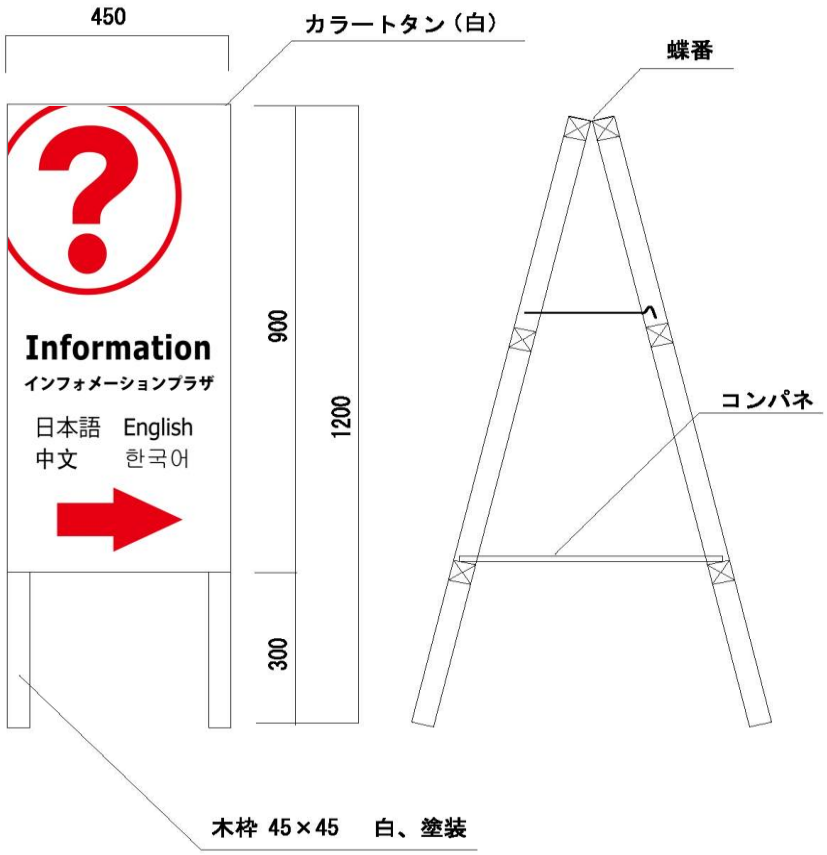
■インフォメーションサイン

祭り当日における外国人への案内拠点として、温泉街の中心部にあるインフォメーションプラザ、及び登別観光協会事務局の向かいに設置が予定されている祭りの本部テント前に、インフォメーションセンターの位置を示す以下の看板を設置した。

図３－１０
インフォメーションサイン

図３－１１　インフォメーションサインの仕様

自立式看板



※表示面：インクジェット出力orカッティング文字マーキング

■インフォメーションブース

今回、訪れた外国人観光客向けに、地獄祭りのインフォメーションを行う案内ブースを新たに設置した。設置場所は、地獄まつり実行本部のある観光協会前の駐車場で、写真にあるような白いテントに NOBORIBETSU TOURIST ASSN の文字をプリントして表示した。

テント内には、２日間のイベント期間中、常時４カ国語、４人の外国人案内スタッフを配置し、外国人観光客へのマンツーマンの情報提供を行った。

インフォメーションブースに使ったテント

外国人観光客に懇切に説明

■満足度向上ツール

外国人観光客が気軽にイベント（鬼踊り大群舞）に参加できるよう、上記のインフォメーションブースで踊りへの参加を呼びかけるとともに、参加者用の浴衣を制作した。

祭りに参加する観光客用の浴衣（左の人）を制作

鬼踊り大群舞に参加した外国人観光客

②モニターツアーの実施

■参加者

楊　桂聖	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館領事
李　璋発	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館経済商務領事
金　成奎	韓国	大韓民国駐札幌総領事館施設管理主任
李　世丙	台湾	台北駐日経済文化代表処札幌分処部長
江　麗玲	台湾	同上夫人
関弋（カン　イ）	中国	北大留学生
洪恵儒（コウ　ケイジュ）	台湾	北大留学生
キム　ヤンキュン	韓国	北大留学生
ペッソンプードウアンサーモン	ラオス	北大留学生

■工程

日次	月日	時間	交通手段	日　程
1	8/27(土)	12:00 14:00 15:00 16:00 19:00 22:00	借上車	札幌駅北口集合 登別温泉到着 個別ﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ(ｲﾍﾞﾝﾄｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ前) まつり会場での外国人観光客へのｱﾝｹｰﾄ調査 まつりオープニング 留学生は鬼踊り大群舞に参加 　その後も引き続きｱﾝｹｰﾄ調査 領事は会場見学 宿泊(分宿)：第一滝本館石水亭 登別グランドホテル万世閣
2	8/28(日)	10:00 12:30		出発まで、まつり会場での外国人観光客へのアンケート調査 登別温泉発 札幌着

■当日の会場の様子

鬼が街のあちこちに出現

インフォメーションプラザ

モニターによる観光客アンケート調査

同左

地獄の釜が開く瞬間を見る観光客

釜から鬼が飛び出す

外国人も御輿かつぎに参加

女性御輿

浴衣を着て踊る観光客

踊りに参加する外国人は多い

閻魔御輿が練り歩く

ある瞬間に恐ろしい顔に変わる

祭り終了後の外国人観光客

子どもと戯れる赤鬼（２日目）

会場に設置された足湯（２日目）

迫力満点の太鼓の演奏

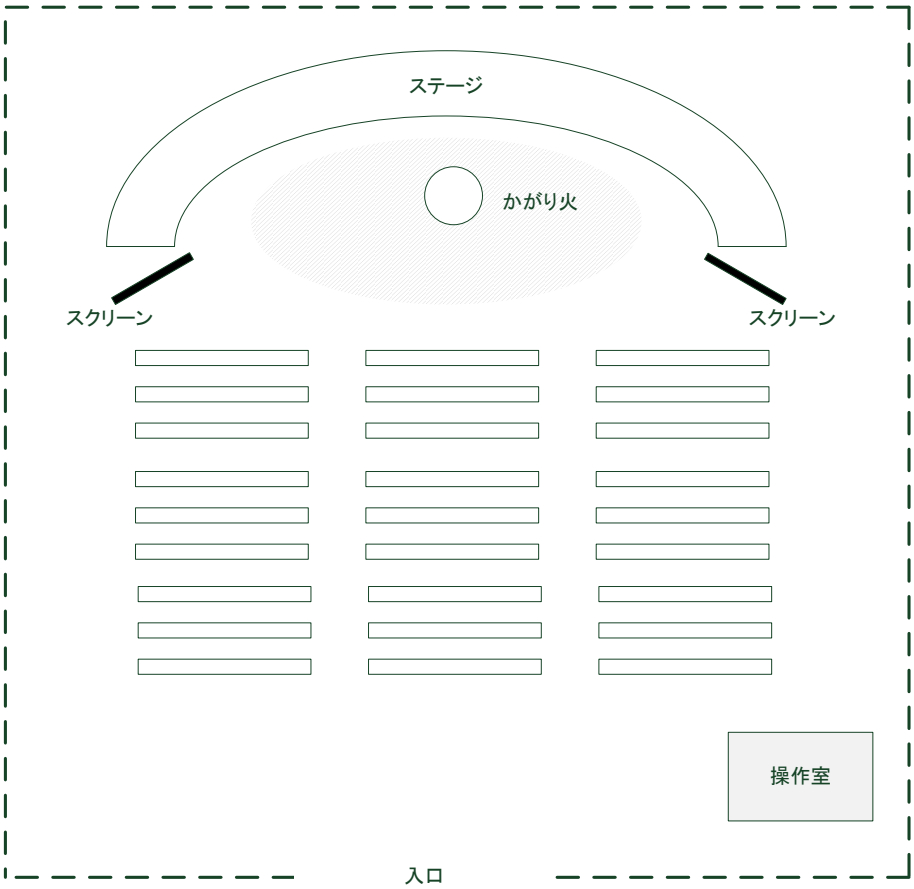
(3)釧路市　イオマンテの火祭り

①制作物

■満足度向上ツール

「イオマンテの火祭り」の生い立ちや祭りの意味が、そこで観賞している外国人観光客にもわかりやすく伝わるように、祭りの解説者の言葉（ナレーション）を多言語で文字化して、それをプロジェクターで投影するシステムを開発した。

図３－１２　イオマンテの火祭り　会場模式図



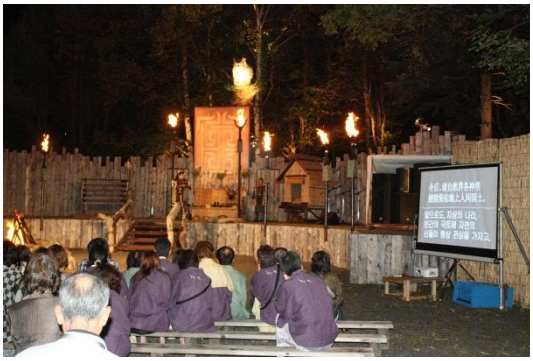
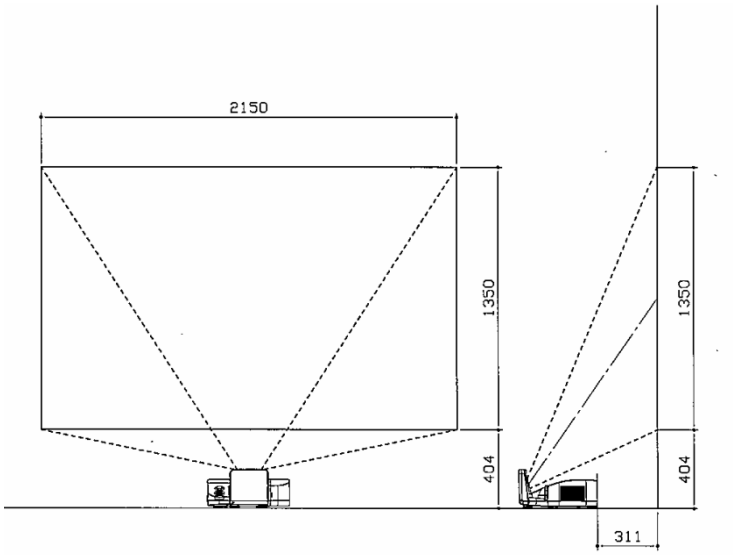
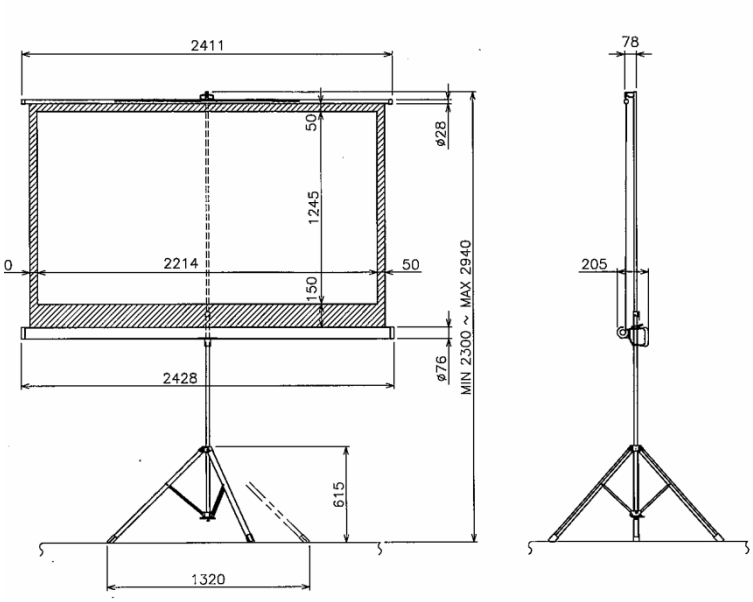


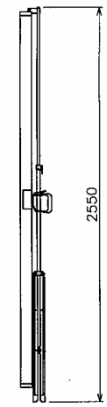
図３－１３　映写機器

プロジェクター



スクリーン





折畳み時
（最小寸法）

スクリーン生地	ホワイト（WG103）　防炎品
	ビーズ（BS101）　防炎品
	ウルトラビーズプレミアムグレー（BU202）　防炎品
	パール（PP201）　防炎品
スクリーンケース	日塗工C25−80B相当オフホワイト色
質　　量	13.6kg
オプション	PT用レザーバッグ（PT−26LB）
備　　考	RoHS対応品

②モニターツアーの実施

■参加者

劉　志堅	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館主席領事
李　涛	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館領事
趙　惠善	韓国	大韓民国駐札幌総領事館領事サービス室
馬　傑	中国	新華通信社東京支社特派員
オウ　マンエイ	中国	北大留学生
ライ　エイジュン	台湾	北大留学生
ユウ　ジュウミン	韓国	北大留学生
ニコル　シ	シンガポール	北大留学生

■工程

日次	月日	時間	交通手段	日　程
1	9/10 (土)	8:30 12:00 15:00 17:00 20:30 22:00	借上車	札幌駅北口集合 池田で昼食 阿寒湖到着 留学生は阿寒観光汽船に乗船 全体ﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ（花ゆう香内） 夕食後 イオマンテの火まつり見学 終了後、アイヌコタン見学及び 留学生は外国人観光客へのｱﾝｹｰﾄ調査 宿泊：阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香
2	9/11 (日)	10:00 11:30 12:30 18:00	 借上車	留学生は阿寒アイヌコタンでムックリ作成体験 阿寒湖畔で昼食 昼食後、札幌へ 札幌着

■当日の会場の様子

イオマンテの火祭り上演中の様子

イオマンテの火祭り上演中の様子

設置したスクリーン

設置したスクリーン

設置したスクリーン

観光客も踊りに参加

終了後出演者と記念写真

火祭り終了後のアイヌコタン

(4) 白老町　ポロトコタンの夜

①制作物

■WEB サイト

「ポロトコタンの夜」のウェブサイトに関しては、アイヌ民族博物館の多言語ページでほんのわずか紹介されているだけで、詳しく知りたい外国人にとっては十分なものではなかった。そのため、上記サイトの関連サイトである「ポロトコタンの夜公式サイト」に、今回作成した多言語による祭り紹介パンフレットをＰＤＦで掲載し、祭りの内容がインターネットで自由に閲覧できるようにした。

図３－１４　アイヌ民族博物館ホームページ

ポロトコタンの夜公式サイト

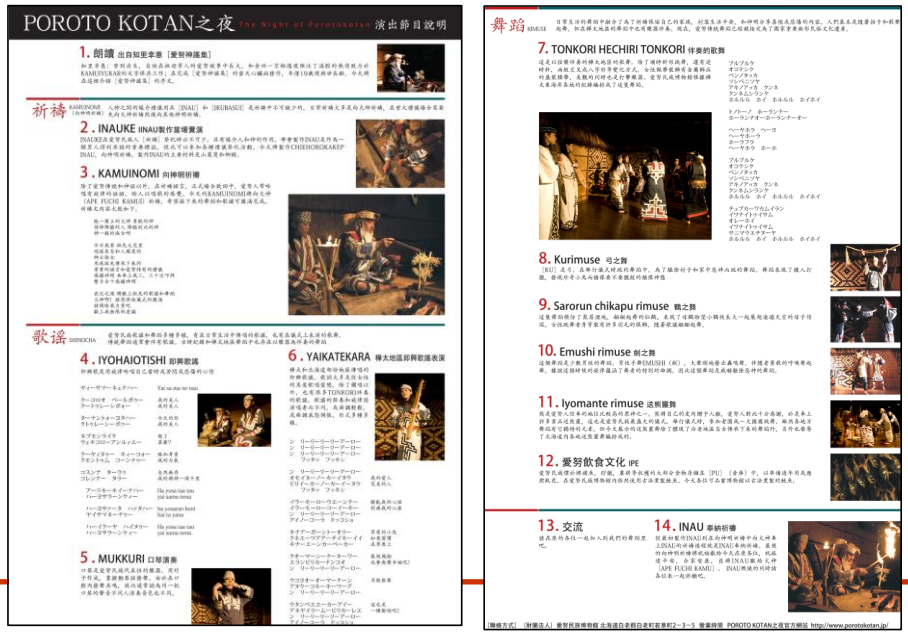
■祭りパンフレット

「ポロトコタンの夜」のプログラム内容を多言語で詳しく紹介したパンフレットを作成した。（Ａ３判２つ折り・Ａ４両面）

図３－１５　ポロトコタンの夜日本語パンフレット

Ａ３判２つ折り

Ａ４両面

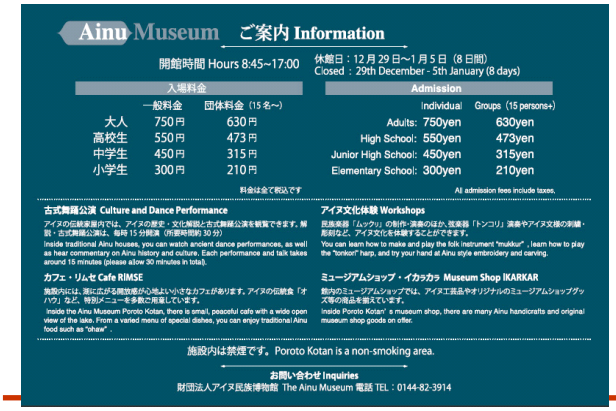


■インフォメーションサイン

ポロトコタン駐車場から入場ゲートまでの動線上に、大きな写真でコタンのイメージを伝える看板を４基設置し、観光客への誘導をスムースなものにした。また、ポロトコタンの入場ゲート前に、日本語英語併記の施設案内看板を設置した。

図３－１６　エントランスイメージ看板

ポロトコタン案内板



■満足度向上ツール

これまで日本語だけであったアイヌ民族博物館の案内パンフレットについても、外国人観光客に利用してもらえるように、新たに４カ国語に翻訳し、配布した。

また、あわせてアイヌ民族博物館を紹介するＤＶＤを作成し、博物館に提供した。

図３－１７　多言語対応のアイヌ民族博物館パンフレット（写真は繁体字版）

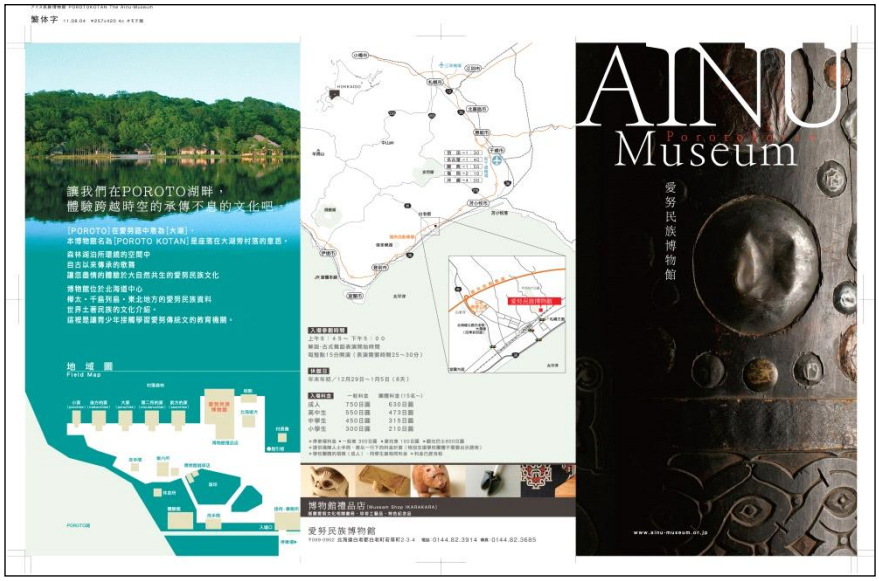


図３－１８
英語版アイヌ民族博物館ＤＶＤ

②モニターツアーの実施

■参加者

蒋　春雷	中国	中華人民共和国駐札幌総領事館領事
鄧　衛華	中国	同上領事夫人
オウ　マンエイ	中国	北大留学生
ライ　エイジュン	台湾	北大留学生
ユン　サンヒ	韓国	北大留学生
ニコル　シ	シンガポール	北大留学生

■工程

日次	月日	時間	交通手段	日　程
1	8/5(金)	15:30	借上車	札幌駅北口集合
				白老到着
		17:00		全体ﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ(レストランいわさき内)
		18:30		アイヌ民族博物館着
		18:40		博物館見学
		19:30		ポロトコタンの夜　見学
				終了後、外国人観光客へのアンケート調査
		21:00		白老発
		22:15		札幌着

■当日の会場の様子

入口へのアプローチに設置した看板

ポロトコタン入口（写真右が英語表記の案内看板）

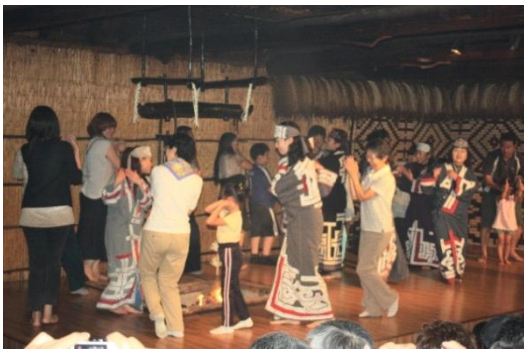
パンフレットの配布コーナー

開演前のポロトコタン風景

アイヌ民族博物館での説明

ポロトコタンの夜　ムックリ演奏

出演者挨拶



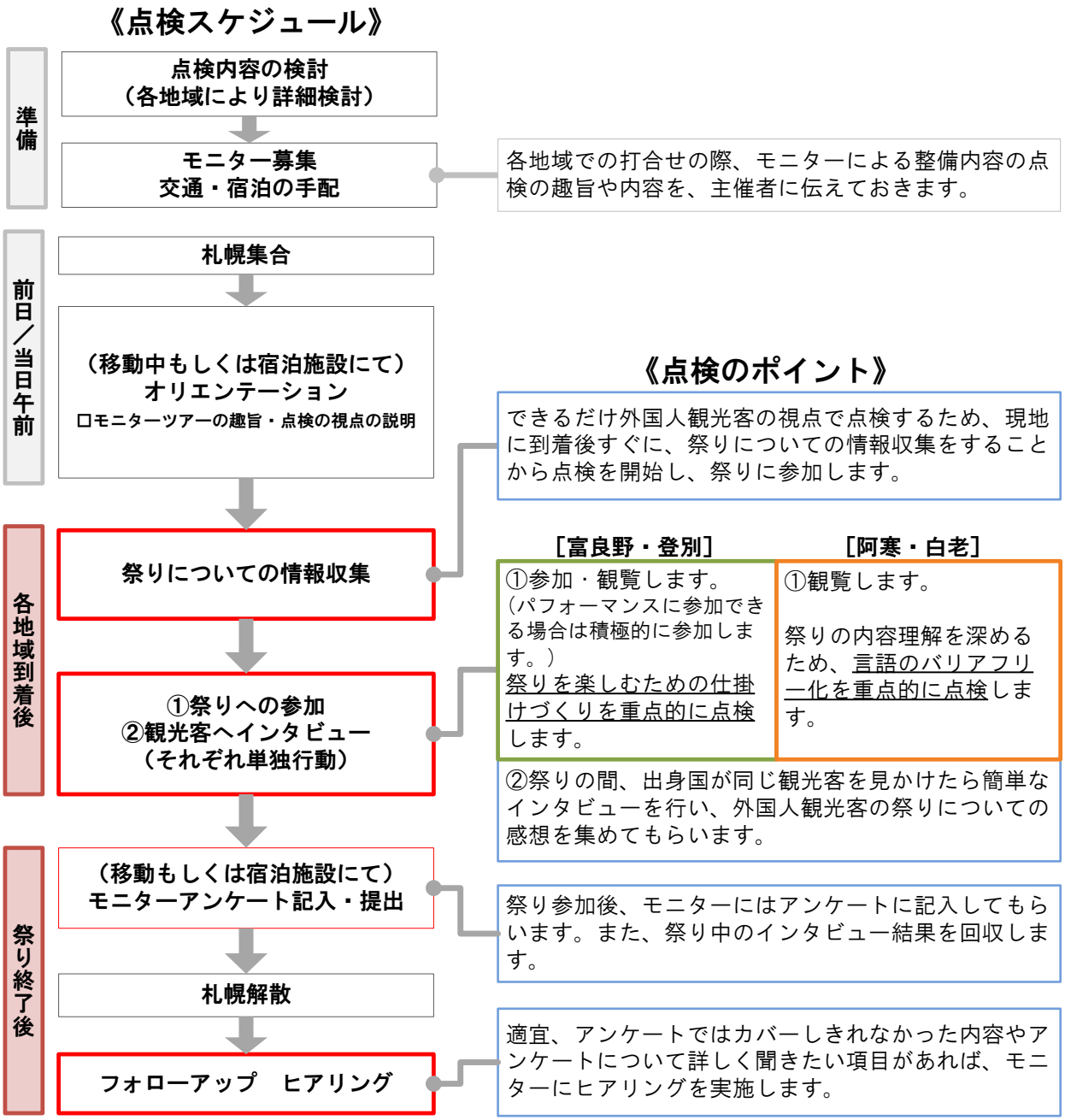
観光客も参加したアイヌの踊り

4. 整備の効果

4－1．効果測定の概要

(1)効果測定のフロー

外国人モニターによる整備後の効果測定を行った。その作業スケジュールと、各工程における点検の視点・重点項目は、以下の通りである。



(2)効果測定の視点

本事業で整備した内容に重点を置きながら、外国人観光客の目線から、祭りの誘客や当日の満足度向上のために必要な次の事項を点検し、効果測定を行った。

なお、モニターから得られた感想や課題は、今後の祭りの発展に活かせるよう、改善案とともに主催者に伝えることとした。

発地での情報　●祭りへ参加する動機形成に必要な情報は十分か。

（祭りの魅力発信、当日のイベント参加に関する情報など）

着地での情報　●祭りの会場において、基本的な移動に関わる情報は十分か。

（祭り会場へのアクセス情報、会場内での主要施設案内など）

楽しむ仕掛け　●当日、祭りを楽しむための情報、仕掛けづくりは十分か。

（祭りのスケジュール、当日参加の方法、シアター形式イベントの通訳など）

(3)モニターの選定

モニターは、①留学生、②在札各国領事館職員・在日海外メディア記者を対象とし、選定した。

①留学生モニター

留学生モニターには、本事業で整備した内容が祭りの満足度を向上させるために効果的であるかどうかを検証してもらうとともに、観覧だけでなく祭りに参加できる場合は、積極的に参加してもらい、その体験談を聞くこととした。

さらに、祭り会場では、自分と同じ母国語の外国人観光客へインタビューを実施してもらい、観光客の感想を集めた。

属性	協力会社に登録している札幌在住の留学生
出身地 (言語)	アジア４カ国(都市)　各地域１人ずつ　計４名 ◎必ず派遣する国：３名　中国(北京語または広東語)　台湾(北京語) 韓国(韓国語) ○その他のアジア圏：1名（英語圏として）香港またはシンガポールなど
点検での 役割	1. 祭りへ参加・観覧しながらの整備内容の点検 2. 外国人観光客へのインタビュー

②領事館職員･在日現地メディア

在札の領事館職員（または来道中のその家族）もしくは在日現地メディアの記者※を各地域の祭りに招待、モニターとして参加してもらった。できるだけ外国人観光客の感覚で点検してもらうため、具体的な点検内容は事前に伝えずに行った。

出身地	中国・韓国・台湾 （台北経済文化代表処札幌分処）その他、英語圏も検討　各 1～2 名
点検での役割	祭りへ参加・観覧してもらい、祭り参加後に感想を聞く。

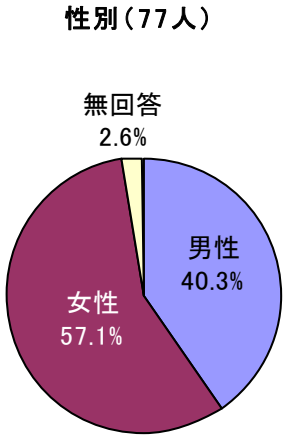
４－２．外国人観光客へのインタビュー結果

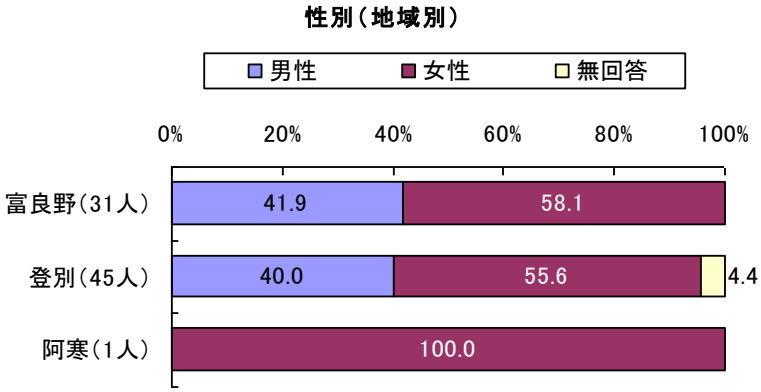
(1)対象

・富良野、登別、阿寒に来ていた外国人観光客 77 人
（富良野 31 人、登別 45 人、阿寒 1 人。白老は祭りへの参加が夜間になったため未実施）

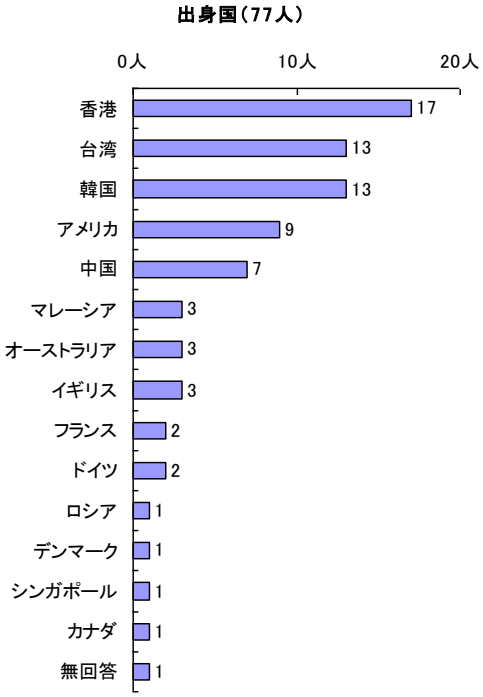
(2)回答者の属性

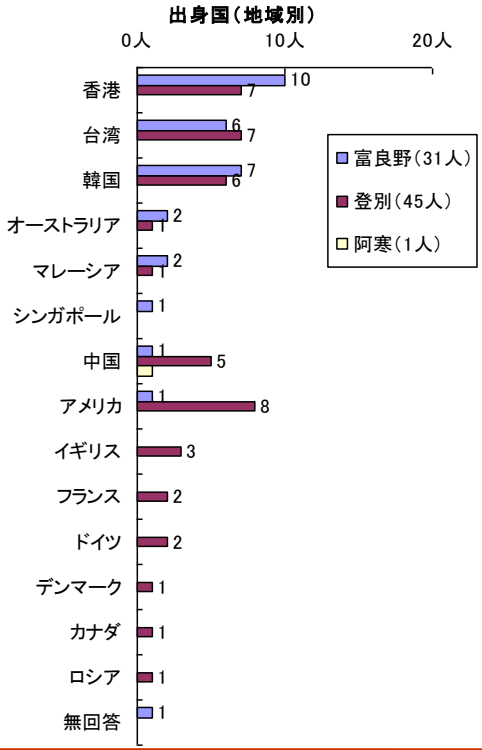
・年齢は男性 40.3%、女性 57.1%で、女性の方が上回っている。





・出身国は香港が 17 人で最も多く、台湾と韓国がともに 13 人で続く。地域別でみると、登別はアジア以外の観光客も見られる。





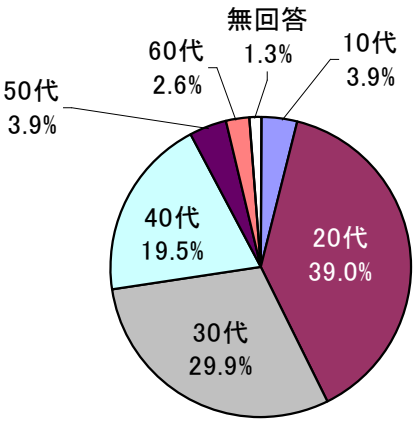
・留学なども含め日本に在住していると回答した回答者は 24 人で、室蘭（4 人）や北見（4 人）、登別（3 人）などの回答があった。地域別でみると、登別は日本在住の回答者が多い。

「日本在住」と回答した回答者 24 人の居住地

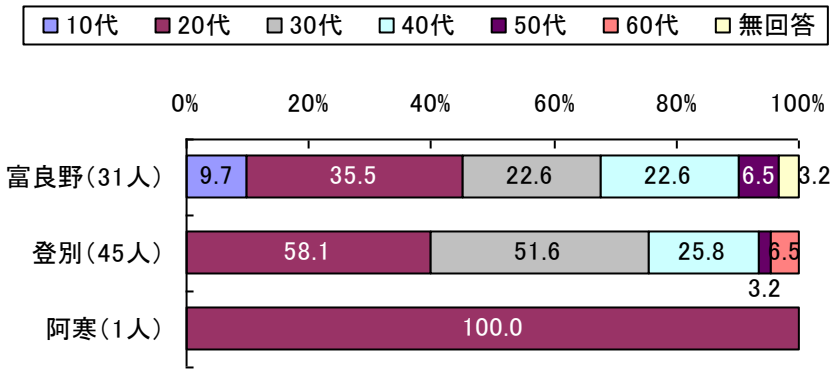
	全体	富良野	登別	阿寒
室蘭	4	2	2	
北見	4		4	
登別	3		3	
白老	3		3	
札幌	2	1	1	
富良野	2		2	
紋別	1		1	
根室	1			1
ニセコ	1	1		
南幌	1		1	
苫小牧	1		1	
青森	1		1	

・年代は、20 代（39.0%）で最も割合が高く、30 代（29.9%）、40 代（19.5%）と続く。地域別でみると、富良野では 10 代の観光客が約 1 割を占めている。

年代（77人）

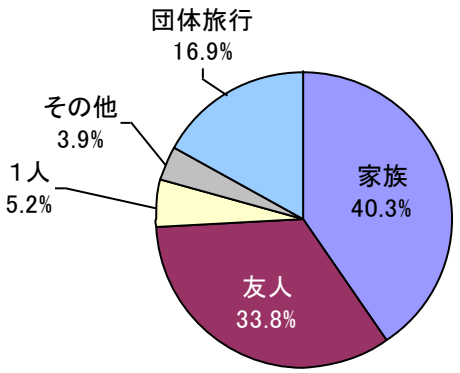


年代（地域別）

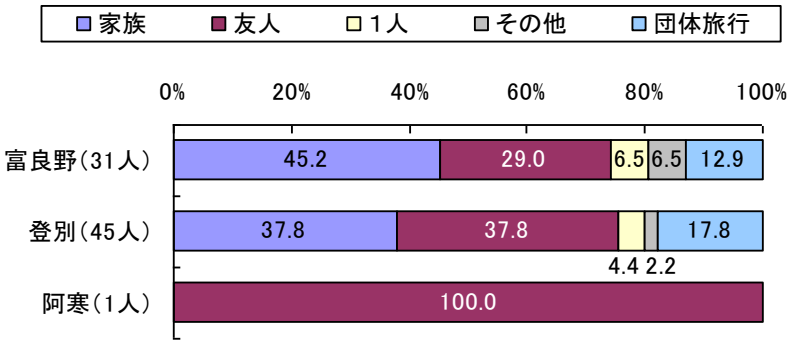


・旅行形態は、家族旅行（40.3%）の割合が高く、友人（33.8%）が続く。

旅行形態（77人）

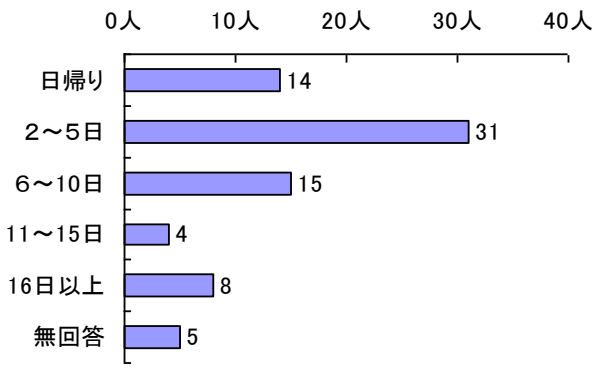


旅行形態（地域別）

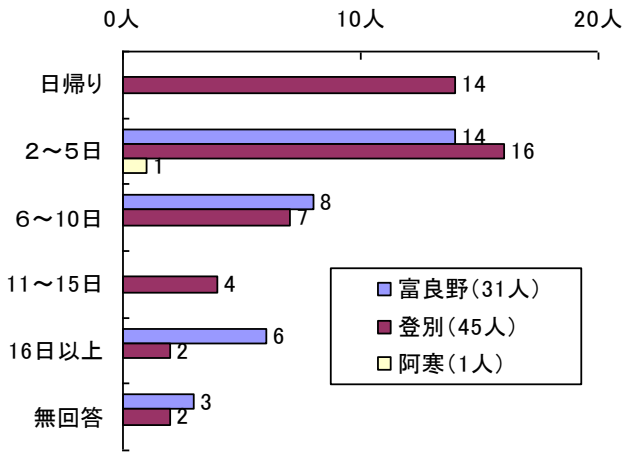


・滞在期間は 2 日～5 日の期間の回答者が 31 人と最も多く、6 日～10 日（15 人）が続く。その次に多いのが日帰り（14 人）である。地域別でみると、富良野は日帰りの回答が多い。

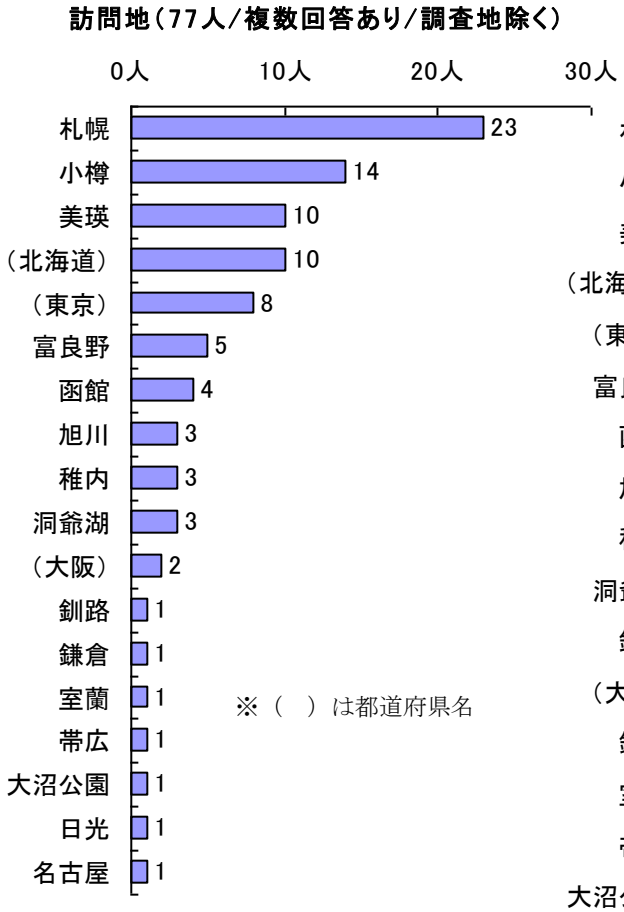
滞在期間（77人）

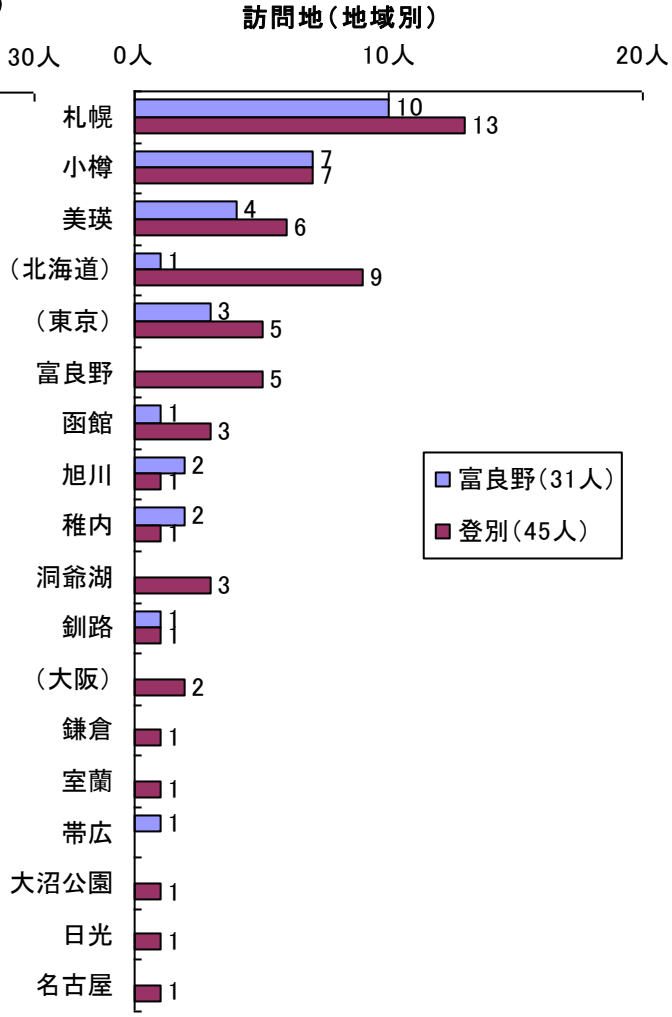


滞在期間定（地域別）



・各調査地域を除いた訪問地は、札幌が 23 人と最も多く、小樽（14 人）が続く。





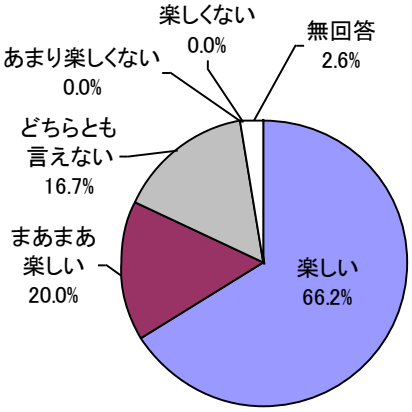
・旅行の目的は、祭りの参加・見学のほか、温泉や花の観光などが多い。

■旅行の目的

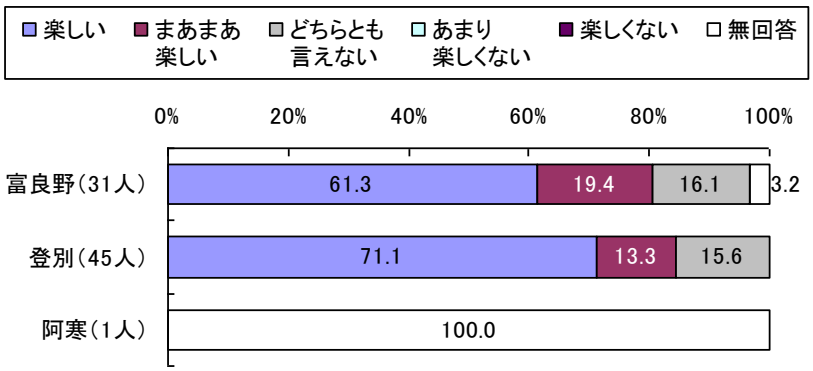
富良野	登別	阿寒
花を見る（16） 温泉（12） 祭を見る・祭に参加する（4） 写真撮影（1）	祭を見る・祭に参加する（19 人） 温泉（18 人） 地獄谷（4 人） 花を見る（2 人） 仕事（1 人） キャンプ（1 人） 友人を訪ねるため（1 人） 友好交流事業で（1 人）	温泉（1 人）

・祭りの楽しさについては、「楽しい」という回答が 66.2%と最も割合が高く、まあまあ楽しい（20.0%）が続く。

祭りは楽しいですか（77人）

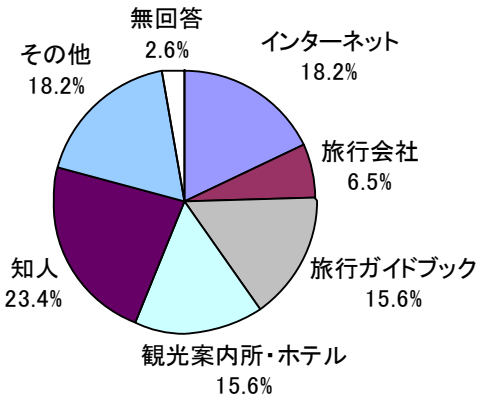


祭りは楽しいですか（地域別）

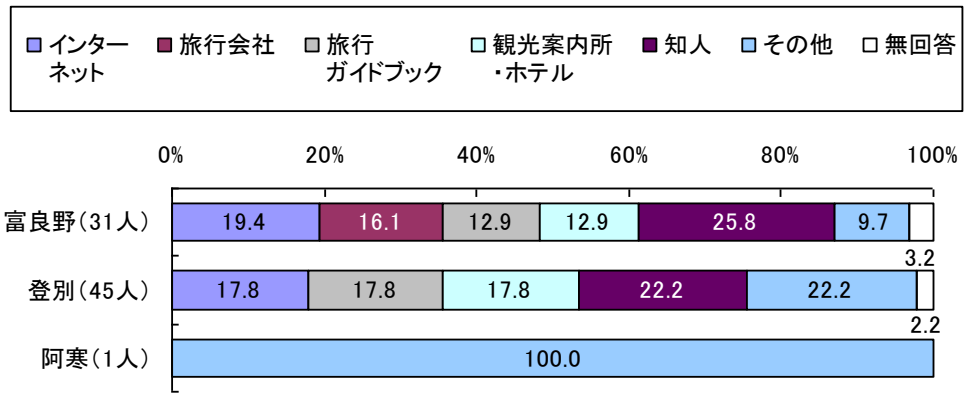


・祭りの情報源は、「知人」（23.4%）の割合が最も高く、「旅行ガイドブック」と「観光案内所・ホテル」が 15.6%と同率で続く。地域別でみると、富良野のみ「旅行会社」の回答がある。

祭りの情報源（77人）



祭りの情報源（地域別）



４－３．外国人モニター調査結果

(1)富良野市・北海へそ祭り

【調査日：７月２８日（木曜日）～２９日（金曜日）】

昭和 44 年から、北海道の「へそ」に位置する富良野市で始まった「北海へそ祭り」は今年で 43 回目を迎えた。祭りのメインイベントは、夜に開催される、腹部に顔を描く「図腹（ずばら）」を施した人たちがチームになって踊る「図腹踊り」で、お腹を顔に見立てて絵を描き、頭部を大きな傘で隠して踊る人たちと、それを見学する人たちでにぎわう。また、日中は多くの露天が立ち並ぶ中、パレードや市民参加型のイベントが開催されている。

ここでは、次の視点から、外国人観光客が楽しむことができるための方策を検証する。

１　北海へそまつりをＰＲする Web サイトの整備による集客
２　会場でのパンフレットや記念撮影ボード、案内看板の整備による誘導
３　「図腹踊り」に参加するインターナショナルチームへの受け入れ
４　外国人観光客を対象とした「YOKOSOFURANO ブース」への受け入れ

1)web サイト

①検索エンジンで検索可能な文字

モニターに「北海へそ祭り」を検索エンジンで調べてもらった。その結果、「へそまつり」など関連するキーワードでの検索はおおよそ可能であるが、「へそ（ＨＥＳＯ）」などより端的なキーワードでは、北海へそ祭りの情報をダイレクトに検索することができないことが分かった。

［表］　検索エンジンと検索文字

検索エンジン名	検索した文字	結果
Yahoo japan	ふらのまつり	○
	へそまつり	○
Google	へそまつり	○
	HESO	×
	HESO FESTIVAL	○
	HOKKAI HESO	○
	FURANO HESO	○
	FURANO FESTIVAL	○
	北海肚臍祭（北海へそ祭り）	○
	富良野肚臍祭（富良野へそ祭り）	○
	肚臍祭（へそ祭り）	○
	북해 헤소 마쯔리（北海へそ祭り）	○
	후라노시 헤소 마쯔리（富良野へそ祭り）	○
	헤소 마쯔리（へそ祭り）	○

②母国語の「富良野北海へそ祭り」のページ

［表］　母国語によるページチェック

	中国語（簡体）	中国語（繁体）	英語	韓国語
トップページ	―	―	―	―
へそ祭りの歴史	―	―	―	日本固有の歴史なので難しい。 歴史の流れをもっと簡単に説明してほしい。
へそスポット	―	記載は少しだったが、分かりやすかった。	スポットの位置図がない。	―
図腹について	―	―	―	分かりやすい。
へそ踊りの踊り方	―	もう少し説明があった方が良い。	もう少し文字の説明がほしい。	分かりやすい。
プログラム	―	―	―	一番分かりやすかった。
会場図	―	見にくい。	―	―
参加の仕方	―	―	参加申込場所（本部正面）の写真がない。文字だけでは分かりづらい。	もっとアピールする文章がほしい。 このページを読んで参加しようと思うまでには距離感がある。

※「ー」は問題なし

モニターからの意見ほか

ホームページについて

・外国人が参加して楽しそうにしている表情の写真を載せたらいい。
・例年の様子を写した写真、ビデオなど。
・祭りの情報を得られる場所を載せていない。複数ある情報提供場所の位置を示してほしい。
・インターネット上の特別クーポン。
・おいしい食べ物の情報について提供した方が良い。
・北海道の魅力の紹介を入れた方がよい。

2) 会場でのパンフレットや案内看板等の整備による誘導

①パンフレット

パンフレットについては、「中文（簡体)」「中文（繁体)」「韓国語（ハングル)」「英語」で作成し、モニターによってそれぞれの母国語のパンフレットについてチェックを行った。

「受付に行けば情報は得られる」「YOKOSO FURANO ブースは限られたエリアで行っているので行けば情報は分かる」など、日本人や毎年参加している人たちならば持っている情報収集に関する感覚も、初めて祭りに参加する外国人にはないことが多い。初めて祭りに来た外国人が祭りに興味を抱き、参加して楽しんでもらえるような紙面の工夫が求められている。

パンフレットの設置場所も「受付に行けばある」という感覚を持ち合わせない外国人観光客もいる。外国人観光客にうまく届く工夫が求められる。

また、パンフレットの内容については、一部間違った表現があったり、「中文（繁体)」のパンフレットに簡体があったりした。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

パンフレットについて

・祭りの歴史、経緯などを少し紹介してはどうか。
・各言語での紹介（祭りの発展史）はあった方が良い。
・地図にもっと写真（場所の写真、ステージ正面写真など）を載せてほしい。
・紙面が限られるので、プログラムは全部ではなく絞ってもよいのではないか。
・インターナショナルチームについて、スケジュールが分からなかった。
・YOKOSOFURANO ブースを説明している箇所に、それぞれの開催場所が掲載されていません。ＡＢＣなど簡単なサインで良いので場所を示すサインがほしい。
・会場までの交通手段、駅の情報がほしい。
・パンフレットが置いてある場所が少ない。外国人観光客のほとんどは、パンフレットがあるということを知らなかった。
○パンフレットをもらう場所が分からない。スケジュールの情報を入手する機会がない。
○貼り紙やパンフレットが少なく、外国人向けの情報提供が不足しているように思った。
○外国人向けの貼り紙や資料の紹介が少ないと思う。

［表］　パンフレットのチェック（間違い箇所）

	間違っている箇所	訂正の内容・仕方
韓国語（ハングル）	「ここを」	「この場所を」
中文（繁体）	簡体字がある	繁体字の方がよい

②記念撮影ボード

記念撮影ボードについては、外国人をはじめ記念写真を撮る観光客（市民）の姿が見られた。

モニターからは、「図腹踊りの際に使う傘がそばに置いてあれば、それを使って写真を撮りたい」「図腹踊りのモデル（人形）があれば一緒に撮りたい」という意見があった。より記念になる写真が撮れる工夫が求められている。

③案内看板

会場の各所に４か所設置した案内看板については、会場の人が多かったこともあり、あまり目立たないものもあった。また、パンフレットで説明をする際に用いているサイン（Ａ・Ｂ・Ｃ･･･）を、実際の会場にも掲示してくれると分かりやすいという意見や、トイレの場所が分からなかったなどの声があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

会場内の看板について

・詳しい情報については日本だけしかなくちょっと困った。英語でも表記してほしい。
・看板が目につかなかった。教えられて意識的に見に行った。店の前にあった看板は十分だが、メインステージ付近では看板のようなものは見つけられなかった。
・会場の看板（地図）は、メイン会場の周りに集中して設置した方が良いのではないか。
・パンフレットで説明に使われている ABC･･･のサインを、会場の各場所にも同じように掲げてくれると、分かりやすい。
・トイレのサインがなかった。天気が暑かったので、水を飲む機会も多く、トレイが探しにくかった。

○看板が少なかった。

３）インターナショナルチームへの参加

参加した外国人の感想はおおむね良好で、一緒に申し込んだ仲間以外にも、申込者同士で交流を楽しんでいた。

その一方で、全体のスケジュールが事前に知らされておらず把握できなかった、練習時間が長かった、インターナショナルチーム以外の、他のチームの参加者と交流する時間がないなどの意見もあった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

インターナショナルチームへの参加について

＜満足＞

・簡単な操作はすぐ覚えた。各国の人々と一緒に踊りながら交流して、楽しかった多くの観客の前で公演できて、すばらしい思い出ができた。

・いい経験だった。面白くて楽しかった。

○やったことがないことができて面白かった。

○へそ踊りが面白かった。韓国ではあまり経験ができないから。

○みなさんと一緒に踊ることができてうれしい。

○いろいろな国の友人と踊りを練習できて楽しかった。

○家族全員で踊って楽しかった。

＜不満＞

・練習時間がちょっと長い。ご飯を食べる時間がなかった。

・インターナショナルチームへの参加者と写真を撮る時間がなかった。

・他の参加チームと交流する機会がなかった。

・参加してからのスケジュールを事前に知らせてほしかった。

＜提案＞

・街なかに観光客を招待して（宿泊して）もらえば多くの人が踊りに参加できるのではないか。

４）「YOKOSO FURANO ブース」

「YOKOSO FURANO ブース」には、おりがみ教室コーナー、富良野高校茶道部によるお茶席コーナー、将棋対戦コーナー、浴衣着付け体験コーナー、図腹絵パフォーマンスコーナーが設けられ、外国人を中心にさまざまな観光客（市民）が体験していた。

参加者したモニターからは、「日本の文化が体験できて楽しかった」「スタッフが親切に対応してくれた」との好感を持った評価があった一方で、「参加したいと思ったが結局遠慮してしまった」「声をかけてもらったので参加したが、自ら参加しようという意識には至らなかった」という感想や、スタッフがもっと積極的に声をかけた方が参加しやすい、「YOKOSO FURANO ブース」の説明看板が少ないので興味をひくような説明がほしいなど、説明の充実やスタッフのより積極的な勧誘を求める意見があった。

モニターからの意見ほか（〇は観光客、領事など）

YOKOSOFURANO ブースについて

・浴衣体験と折り紙体験、ペインティング体験が良かった。
・浴衣ブースに参加しました。とても楽しかったです。特に浴衣を着る順番が印象に残りました。またスタッフがとても優しかった。
・浴衣ブースに参加しました。楽しかったです。特に外国人なので、浴衣を着る機会がないので。
・折り紙ブースに参加しました。おじさんと一緒に折り紙をしながら日本の文化と韓国の文化の差について話したことが勉強になりました。
・看板に日本語のみが多いです。
・スタッフが主体的に声をかけていなかった。もっと積極的に声をかけてほしい。
・楽しそう、面白そうと見えなかった。
・YOKOSOFURANO ブースに分かりやすいサインがなかった。
・YOKOSOFURANO ブースの看板が少なかった（種類も少なかった）

〇浴衣の体験がおもしろかった。（２人）
〇ブースが少ない。

5)今後の魅力向上＆改善点

発地での情報

①祭りのアピールと歴史や経緯の説明

多くの外国人観光客にとって、富良野は「花や豊かな自然の風景を見ることができるところ」というイメージを持っているが、へそ祭りについては、富良野観光でたまたま祭りに出会ったという外国人観光客が多く、へそ祭りの存在は事前に知られていなかった。しかし、たまたま参加した観光客からはとても楽しかったという声が多く聞こえた。

祭りの開催、参加することができるという情報などをより一層積極的に発信することにより、北海へそ祭りを体験することが夏の富良野の観光ポイントとなっていくことも考えられる。

また、外国人観光客は腹に絵を描いて踊るということについて魅力や新鮮さを感じるとともに、「なぜ“へそ”なのか」というところに関心を持つ声も聞こえた。北海道の“へそ”にあたる富良野ならではの、歴史ある祭りであることとともにその面白さや、初めての人も気軽に参加できる楽しさを伝えることが望まれている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

■（楽しかった、魅力を感じた）外国人観光客が、現地の文化の独特の楽しさを体験できるところ。

○初めて北海道に来て、何でもおもしろく、いい感じ。

○踊りなど自分の国にはない日本的な祭りが楽しめた。

○ラベンダー以外に、祭りも楽しい。

○日本の祭りに触れられていい。

・台湾からの観光客は本当に少なかったが、へそ祭りの踊りが、台湾人にとって最も魅力的だった。

■お腹をテーマにして、お腹に絵を描いているのは、中国のお祭りでは想像もできず、新鮮さを感じる。

・もっとへそ祭りや富良野に関しての情報が多かったらいい。

・（外国人を呼ぶためのアイデア）富良野のイメージは、花がきれいなところということが強く、もっとへそ祭りのＰＲをしたら良い。雑誌やパンフレットにもたくさん掲載したらよい。

■（外国人を呼ぶためのアイデア）富良野のラベンダーは、中国でも知名度が高く、また、その周りには北海道の有名な観光名所がある。観光スポットとして「へそ祭り」を追加し、旅行会社に重点を置いて、徐々に「へそ祭りをＰＲし、認知度を高めていくことを提言したい。しかし、大きすぎる期待をし、あせるのは禁物であると考える。

②楽しんでいる様子を伝える

インターナショナルチームでのへそ踊りの参加も、YOKOSO FURANO ブースでの日本文化の体験も、「日本でいろいろなことを体験したい」と積極的な意識を持って来た外国人観光客にとって、とても魅力あるメニューである。これらはいずれも、これまで回を重ねて開催されている企画であり、できるだけ外国人も参加しやすいようにとの工夫が施されているが、「参加したら楽しいことが分かるが、パンフレットやホームページからはその魅力や参加することの楽しさが十分に伝わらなかった」という意見がモニターからあった。

実際に外国人が楽しんでいる様子、参加した外国人の感想などをパンフレットに掲載したり、参加者に Web 等を通じて楽しさを情報発信してもらうなど、多様な広報媒体を通じてより積極に広報することで、外国人観光客の参加意向を促進することができると考えられる。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・（外国人を呼ぶためのアイデア）宣伝手法として、フェイスブックやツイッターを利用する。
・（外国人を呼ぶためのアイデア）フェイスブック登録者からアドレスなど連絡方法をもらい、来年の案内を出す。
・（外国人を呼ぶためのアイデア）この祭は日本人を主な対象とした祭りですが、国際的に発信するには、ホームページ、パンフレット、海外への紹介などをもっと行うべき。

③動画の改善（文字での補足説明、各言語での音声解説など）

へそ踊りの踊り方については、ホームページに動画を掲載しており、各外国語のページからも動画を観ることができるようになっている。現状では日本語での説明の動画であり、モニターからは「補足の説明を母国語で表記してほしい」という意見があった。へそ踊りの楽しさ、初めての人でも覚えられる程度の所作の踊りであることなどを伝えて参加意識を高めるためには、動画中の説明が伝わることが必要であると考えられる。

着地での情報

会場で欲しいと思った情報

	◎：ぜひ欲しい　○：有ると良い　△：特に必要はない			
緊急対応	◎	◎	○	△
観光情報	○	○	○	○
移動方法	◎	◎	◎	○

①会場環境の基本情報、天候への対策

今年は夏の暑さに加えて、へそ踊りの列が会場を練り歩く「北海へそ踊り大会」の時間帯を中心に雨が降り、雨宿りの場所や傘、帰りのタクシーなどを求める人で混雑した。

トイレや休憩場所、ゴミを捨てる場所の案内など基本的な情報とともに、交通機関の案内、急な天候の変化で必要とされる情報（交通、傘、暑さ・寒さ対策など）の提供や対策の充実が求められている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

○お知らせや祭りの情報が少ない。
○トイレがどこか分からなかった。
○外国人への情報提供が少ない。
○外国語での案内所が少ない。
○英語のメニューがない。
○ゴミ箱が少ないので、ゴミを持ち歩かなければならない。

②プログラムの進行に関わる情報）

今回作成したパンフレットには、当日のプログラムに関する情報が細かく掲載されていたため、どのようなことが行われるかはあらかじめ伝えることができた。

当日イベントが始まると、進行状況に関するアナウンスがなかった、メインステージの司会者のアナウンスが日本語だけで、どこまで進んでいるのか分かりづらかったなど、当日の進行に関する情報入手が外国人観光客にとっては難しいという意見があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・重要なイベントを始める前に英語のアナウンスが全くない。（簡単な一言でもいいので、これから何を行うかアナウンスをした方がよい）
・各イベントが始まる前のアナウンスが不十分。
○詳しい内容が見えないし、言わないので分からない。

楽しむ仕掛け

①外国語に対応できるスタッフ

スタッフに接した人からは対応の優しさを評価する声が聞こえた。一方、日本語が分からず困ったという声も聞こえた。

広報媒体や言語表記では足りない部分を補う人材が求められている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・スタッフの方々がとても優しかった。
○スタッフが優しかった。（２人）
○日本語が分からない。
○コミュニケーションができずに困った。
○ガイドさんや説明がほしい。フリーで旅行をすると添乗員がいないので困る。どうすればよいのか。

②観光客が楽しむ場

北海へそ祭りは、富良野市民にとって年に一度の大きな祭りであり、比較的市民中心のイベント要素が強い。観光客は観光地としての楽しみ（富良野らしい食べ物や食事、体験できるもの、写真をとる場所など）を求めてきており、特に外国人観光客は、日本の祭りの雰囲気を楽しめる（そして体験できる）ことが魅力的であるという意見が多かった。

会場やその周辺で富良野の味を楽しめる場所の紹介、記念写真スポットの充実、YOKOSO FURANO ブースのメニューの拡充、祭りの前後に楽しめる観光スポットの案内など、祭り期間やその前後で外国人観光客が富良野を楽しめる機会を増やしていくことが求められている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

○（不満、残念）地元の人だけの祭りのイメージが強かった。
・（外国人を呼ぶためのアイデア）外国人が参加できるプログラムをもっと多く考える。（飛び入りで参加できる方法をもっと簡単にする。）
・（外国人を呼ぶためのアイデア）弥栄太鼓、北海祭りの踊りなどはすばらしいので、時間があれば体験してもらってはどうか。交流して仲間が増えると思う。

③子ども連れへの対応

当日は多くの人で混雑する中、長時間踊りを見学する時間帯があったため、休憩する場所が少なく困った、雨をしのげる場が分からなかったという声が聞こえた。また、子ども連れの外国人観光客からは、子ども用品が買えずに困ったなどの声があった。

子ども連れの外国人観光客も見られる中、長時間見学するスケジュールがあるイベント時には、休憩する場所の十分な確保や、急に必要になる子ども用品などの取扱も求められ

ている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・休憩場所が少ない。
○休憩場所がない。
○座る場所があって、ゆっくり見たかった。
・会場周辺コンビニが少ないので急に雨が降り、傘を買うのが大変だった。
・傘を買いたかったが、店は休業しており、コンビニがなかった。
○コンビニが少なかった。
○子ども用のものが足りない。

インタビュー、アンケートの意見（課題に関連する意見以外）

・：モニター　○：観光客　■：領事

項目	内容
楽しかったこと、魅力を感じたこと	・へその笑顔は素晴らしい。（踊りながらへそは少し動かした方がよい） ・動作は簡単で、誰でもできる感じで、いい運動になる。 ・図腹は人気ナンバーワンだった。 ・雨が降っていたが、みんな頑張って踊った。感動した。 ○雨が降って大変だったが、みんな頑張って踊っていて感動した。（２人） ○大雨が降っていてもみなさんが踊っていてすごいと思った。 ○昨日雨が降っていたのに、みなさん頑張って踊った!!感動した。 ○蒸し暑いのにみんな頑張って演奏していて感動した。 ■２日間で７～８万人が祭りを見に訪れ、その数は富良野の人口（25,000 人）の２～３倍にもなることは日本人と旅行客に知名度が高いことを証明している。 ■老若男女を問わず、誰もが参加できるところ。 ○友達と一緒に参加して楽しい。 ○旅行しながら体験ができるのでいい。 ○みなさんの化粧はすごい。 ○祭りの化粧はおもしろい。 ○フラダンスが印象的。 ○太鼓の演奏がとても良かった。（２人） ○地域の人が全員参加しているようでびっくりした。子どもが参加しているのがおもしろかった。 ○子どもが好きなので、子どもが多くていい。 ○めちゃにぎやか。 ○全部楽しい。 ○何でも楽しい。 ○静かだし、平和な感じが良かった。 ○アイスクリームが美味しい。（２人） ○すばらしい町、すごい国民。

自分の国でＰＲする内容（自国から見て魅力的なこと）	・「肚皮舞　肚中笑臍　個人の心身　世界の笑顔」 ・へそ祭りの楽しさ。 ・誰でも参加できるということ。 ・へそ祭り会場から他の観光地にアクセスしやすいこと。 ・最も魅力的なのは図腹、お土産の団扇。参加者を一緒に写真を撮るのは楽しそう。 ・お腹に人の顔を描くことは初めてだったので魅力的だと思った。もっといろいろな形の絵の種類が多かったらいいと思う。
不満だったこと、残念なこと	○大雨だった。（４人） ・大雨のため、順調に終わらなかった。 ・雨が降った。 ・太鼓、ダンスなど、一般の観光客が参加できるようなプログラムがなかった。（例えば各プログラム終了後、5～10 分観光客が体験できる時間を設けるなど） ・記念グッズの販売や写真を撮れるスポットを多くした方がよい。（特に図腹を描いた人と写真を撮れれば、いい記念になる） ・記念Ｔシャツの販売をしてほしかった。 ■野外で開催されるため、雨が降った場合、中止や延期になるなどの影響がある。 ○ゆっくり見ることができなかった。時間が足りない。（５人） ○へそ踊りが見られなかった。（２人） ○体験することができなかった。 ○トイレが不便だった。トイレが少ない。（５人） ○トイレが汚かった。 ○人が少なかった。 ○踊っていた人たちは良いのですが、観客は（雨で）混乱したように見えた。 ○駐車場がちょっと遠い。 ○家族全員が来ると子どもの面倒をみるのが大変。 ・満足度は 80%。雨がたくさん降ったのが残念。でもみんな頑張って踊っていたのには感動した。日本人の精神や強さに関して考えられることができて良かった。
外国人を呼ぶためのアイデア	・海外に、道内の各祭りの案内（パンフレット）を発送することはできないか。 ・日本的なものを強調する。 ・一般の祭りは週末に行われるが、へそ祭りは木、金曜日に行われるため観光客が少ない。週末に行う方が良い。
その他（観覧した感想など）	・帰りのタクシーを持つ時間が長かった。 ・会場と駅までの距離が近いので困ったことは特になかった。 ・大雨のため、全身がぬれましたが、ホテルに帰ってから夕食が食べられなかった。大変疲れた。 ・子ども陸上（赤ちゃん競争）は面白かった。 ■毎年夏になると、日本各地で、それぞれの祭りが開催されるが、開催時間には限りがあり、場所も限られていて、これによって外国人観光客を誘致するのはあまり現実的ではない。

(2)登別市・地獄祭り

【調査日：８月２７日（土曜日）～２８日（日曜日)】

昭和 39 年から、開催されている「登別地獄まつり」は今年で 48 回目を迎えた。地獄谷があることから催されるようになったこの祭りは、地獄の釜のふたが開いて閻魔大王が鬼たちを引き連れて登別温泉に訪れるという伝説をもとにしたもので、毎年、8 月の最終土・日曜に開催される。

「鬼みこし」や「閻魔大王のからくり山車」「鬼踊り大群舞」「地獄大行列」のほか和太鼓の演奏も行われ、最終日の夜には、地獄谷から花火が打ち上げられる。ここでは、次の視点から、外国人観光客が楽しむことができるための方策を検証する。

１　パンフレットの整備による情報提供
２　インフォメーションサイン、インフォメーションブースの整備による誘導
３　「鬼踊り大群舞」に参加するインターナショナルチームへの受け入れ

1)パンフレット整備による情報提供

パンフレットについては、「中文（簡体)」「中文（繁体)」「韓国語（ハングル)」「英語」で作成し、モニターによってそれぞれの母国語のパンフレットについてチェックを行った。

内容は、概ね分かりやすいとの意見であったが、「鬼踊り大群舞」への飛び入り参加を受付ける場所や受付後のスケジュール、参加を促す写真（外国人が楽しんでいる姿）、混むと探しづらいトイレや休憩場所の位置などを丁寧に記載すべきとの意見があった。

また、パンフレットは、インフォメーションセンターとまつり本部に配置したが、多くの外国人観光客の目に触れやすい各ホテルのフロントには配置されていなかった。インフォメーションセンターがあることの情報発信とともに、外国人観光客に届きやすい箇所にパンフレットを効果的に配置することが必要であるとの意見もあった。また、パンフレットの内容については、「鬼踊り大群舞」の表記に間違いがあった。

モニターからの意見ほか

パンフレットについて
・外国人の飛び入り参加を受け付ける場所を分かりやすく示す。
・トイレの場所
・休憩できる場所〃
・温泉に関する情報を載せた方がよい。
・お土産に関する情報を載せた方が良い。
・パンフレットをもっと早くから、もっと多くの場所で配って欲しい。
・パンフレットに小さな写真（祭りを楽しんでいる外国人の写真）を載せた方が良い。

［表］　パンフレットのチェック（間違い箇所）

	間違っている箇所	訂正の内容・仕方
英語	Demon　Dance　Group	Demon　Group　Dance

2)インフォメーションサイン、インフォメーションブースの整備による誘導

①インフォメーションサイン(看板)

インフォメーションサイン（看板）については、２つ製作し、インフォメーションプラザとまつり本部のインフォメーションブース（テント）の前に１つずつ設置した。

人通りが多くなるとその近くを通るまで存在が分からない、夜になると照明が伴わないため見えづらい、などの状況もみられた。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

インフォメーションサイン（看板）について

・看板の文字が小さい。
・まつり本部の前にあった看板の位置が、メインストリートから離れていた。

②インフォメーションブース(テント)

まつり本部にはインフォメーションブース（テント）を設置し案内スタッフを配置した。

結果、インフォメーションサインを目当てに、日本人観光客も含め情報や案内を求めている観光客の姿が見られた。

インフォメーションプラザでも外国語対応が可能なスタッフが在席していたが、パンフレットだけでは分からない情報を求めることが多く、外国御語対応が可能なスタッフの重要性が再確認できた。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

インフォメーションブース（テント）について

・外国人に対応できるスタッフを置く（モニター以外に）イベント参加を誘うスタッフがいれば、もっと参加者が来てくれる。
・当日外国人が飛び入り参加できる受付をもっとめだつようにする。
・インフォメーションセンターがあることは理解されても、鬼踊り大群舞に飛び入りで参加できることは案内が出ていないので、こちらから説明するまで、伝わらなかった。自ら参加申し込みする人は少なかった。
・滞在時間が限られている外国人に自分が滞在している間に体験できることはないか尋ねられた。（鬼踊り大群舞以外にも、体験できるものがあると良かったのでは。）

3) 鬼踊り大群舞

参加した外国人の感想はおおむね良好で、登別市民の参加者とともににぎやかなまつりの雰囲気を楽しんでいた。

会場には家族連れや中高年の外国人観光客も多くみられたが、インターナショナルチームに参加した外国人観光客の多くは、若者のカップルやグループであり、参加年齢層はある程度限られていたことになる。

モニターからは、参加受付の場所や時間を拡充することにより、もっと多くの外国人観光客が参加するのではという意見があった。

また、参加者は貸出用の浴衣に着替えて参加したが、着替える場所とその後集合場所が離れていたので分かりづらかった、踊りは簡単であったが踊り方の講習が十分ではなかった、などの意見もあった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

インターナショナルチームへの参加について

＜感想＞

・面白かった。
・ちょっと疲れた。
・とても面白かった。踊りも簡単なので覚えやすかった。
・夜がふけるとともにみんな鬼になっていった・・・という感じ。
・鬼が統治している町のようでした。
・踊っている時間がちょっと長かった。
・今まで、祭りに行くと見るばかりであったが、今回は踊りに参加することができて楽しかった。

＜改善点＞

・チームのプレートはもっと大きくした方が良い。
・前で誘導してくれる人がいれば、みんなでもっと元気に踊れる。
・踊りの事前指導がなかった。事前に教えてもらえる機会があると良い。
・リズムがちょっと分かりにくい。
・集合場所は、飛び入り参加する人にはよく分からなかった。まつり本部の前に、受付場所であることが分かる大きな看板がなかった。
・鬼踊り大群舞に参加を呼びかけるには、鬼踊りの魅力をアピールする必要がある。
・参加の受付場所を分かりやすくする。
・参加の受付時間を長くする。
・開催をアピールする広告
・鬼踊りの踊り方の案内も必要。
・着替える場所が離れていて、申込み→着替え→集合場所という移動の仕方が分かりにくい。

4)今後の魅力向上&改善点

発地での情報

観光客へのインタビューや、「鬼踊り大群舞」への参加者に尋ねたところ、まつりに来ていた外国人観光客の多くは「温泉観光に登別に来たら、たまたま祭りが行われていたので参加した」というパターンがほとんどであった。

地獄まつりを目的に訪れる外国人観光客はまだまだ少ない状況であり、登別で地獄まつりを開催する歴史や背景とともに、まつりの魅力を全面に出して発地情報力を高めていくことが必要である。

特に、鬼踊り大群舞については、外国人観光客も飛び入りで参加できることや、これまで参加した外国人観光客が楽しんでいる様子を、Web サイトなどを通じて広報する（あるいは参加者に情報発信してもらう）ことが参加者を拡大することにつながると考えられる。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・会場がほぞ長いので、「バスターミナル方面」「観光協会方面」などの方向を示すサインが各所にほしい。
・外国語用パンフレットと日本語用パンフレットは置く場所を区別してほしい。
・各イベントのスケジュール（場所と時間）を示した大きな看板があると良かった。
・分かりやすいチラシと案内
○外国語のサインが少ない。

着地での情報

会場で欲しいと思った情報

	◎：ぜひ欲しい　○：有ると良い　△：特に必要はない
緊急対応	○　○　○　○
観光情報	◎　◎　○　△
移動方法	◎　◎　△　△

パンフレットの地図で、祭りの会場の位置図はおおむね理解できたようだが、地獄谷からバスターミナルにかけて細長い会場になっているため、地獄谷方面かバスターミナル方面かの方向を把握することがまず重要であり、それぞれの方向が会場のどこの箇所からでも分かるようなサインを求める意見があった。

パンフレットについては、祭りの参加者の多くはホテルの宿泊者であることから、各ホテルにも配置することを求める意見があった。

また、まつり会場は多くの市民や観光客で混雑するため、今回設置したインフォメーションサインの看板や案内所のテントについても、文字が小さい、分かりづらい、夜になると分からないなどの意見があった。そのほか、トイレの場所が分かりづらいといった基本

的な情報を求める声も聞こえた。人の混雑や夜間の開催といった条件をふまえて、文字の大きさや設置場所の工夫、夜間照明の併置など、外国語対応が可能な場所を見つけてもらいやすい工夫が求められている。

楽しむ仕掛け

①祭りの歴史、みどころ発信

アジアの外国人観光客には、閻魔大王や鬼といった親しみのある登場人物で構成される祭りを興味深く思う人も少なくない。また、和太鼓に対して魅力を感じた観光客が多く、迫力ある演奏に感動したとの声も多く聞こえた。衣装やパフォーマンスの面白さに加えて、祭りの歴史や鬼の文化、生の和太鼓の演奏を間近で聴けることなどをもっと前面的にアピールすることも重要と考える。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・（楽しかった、魅力を感じた）自分の国にはない、日本的なまつりであること。
・（楽しかった、魅力を感じた）閻魔大王
○（楽しかった、魅力を感じた）閻魔大王
・鬼に化けるところや鬼の踊り、鬼に関するものがあるところが魅力的。
■外国人にとって温泉街でまつりを開催すること自体、魅力的な存在であると思う。一般的に祭りといえば、神様、祈願などと関連するが、「地獄まつり」は非常にインパクトで、ユニーク。
○（楽しかった、魅力を感じた）太鼓（２人）
・（楽しかった、魅力を感じた）間近で太鼓の演奏を聞くことができたこと。
・（楽しかった、魅力を感じた）太鼓
■和太鼓は、台湾で見ることができないので、今回祭の会場で鑑賞させて頂いて迫力が伝わってきて感動した。一番魅力のあるプログラムだった。
■和太鼓は迫力あるし、台湾人にとっては珍しい。最高。

②飲食、お土産の情報、祭りの余韻が楽しめる時間の拡大

まつり期間は、会場に多くの出店が並び、飲食を楽しめる箇所も通常の期間より多くなっているが、外国人観光客にとっては、登別らしい食べ物やまつりの記念となる土産を求める場でもあり、それらの充実を願う声も聞こえた。

また、まつりのプログラム終了とともに多くの飲食店も終了することから、まつりの余韻を楽しみながら飲食を楽しもうとしていた観光客にとっては物足りなさが感じられるようであった。

外国人には限らないが観光客にとって地元の味が楽しめる場、まつりの余韻が楽しめる場などの提供が望まれている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・（外国人を呼ぶためのアイデア）旅行の記念として良いものとなるもの（「元鬼玉」のようなもの）があれば。

○記念のバッチを購入するところがない。

■27 日（土曜日）に宿泊した観光客にとって、夜遅くまで存分に遊びたいという気分でいても、イベントが若干早めに終わったことは残念だった。例えば、27 日午後の９時 30 分から花火を打つことがあれば、もっと盛り上がると思う。

③交通アクセス、祭りスケジュール

登別市民以外の、まつりに参加した多くの人は、登別温泉街に宿泊した観光客であるが、中には、札幌など他の地域からまつりを見に来た、日帰りの外国人観光客も見られた。それらの人からは、「花火を見たかったけどバスがなくいなるので帰らないといけない」という人もあり、夜間に開催するプログラムに配慮した交通手段を望む声が聞こえた。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

○バスの本数が少ない（２人）

○会場まで来る方法が分からず困った。

○札幌に戻るＪＲの都合で祭りを全部見ることができなかったのが残念。

・まつりの開催期間は、札幌までのバスを１～２本遅めに運行してほしい。そうすれば、まつりを遅くまで楽しんで札幌に帰ることができるので。

○夜の祭りを見る時間がない。

○夜の八時に戻るので、夜のプログラムが見れない。

○花火が見れない。

○１日目にも花火をして欲しかった。

④鬼にまつわる企画

鬼に関するオープニングや御輿、会場を鬼が踊り、練り歩くなど、「鬼」のまつりであることは、外国人、特にアジアの観光客にとっては理解しやすく明確なテーマであるとの感想があった。それ故に、「地獄谷を背景に鬼や閻魔大王が登場し、地獄を彷彿とさせる演出が魅力的だ」「鬼踊大群舞は、もっと本格的な「鬼」がたくさん出てきて踊るのかと思っていたが残念だった」など、アジアの観光客からは、鬼に対する親しみや期待の声が聞こえた。

鬼との遭遇や地獄の様子を体験できる企画、鬼になれる企画など、より鬼に親しんでもらえる企画を増やしてほしいという声もあり、鬼まつりというテーマに沿って、外国人観光客により一層「鬼」を楽しんでもらえる機会を増やすことも望まれている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

■一番期待して見ていたのは「鬼火の路」。地獄を彷彿させる光景は登別地獄まつりしか見られない。台湾人観光客は、みな一度は見たいはず。残念ながら、27 日の夜は（まつりの終了が遅かったので）見られなかった。「鬼火の路」を見たいならば、登別地獄まつりに来てください！というＰＲは効果的。

■「鬼踊り大群舞」に少しがっかりした。様々な“鬼”が踊るのかと思っていたので。

■閻魔大王のパレード、そしてマスクの変換は、とても新鮮。

・まつりのテーマが明確で自分の国にＰＲしやすい。

■（外国人を呼ぶためのアイデア）地獄や鬼、閻魔大王などは、人間にとって怖い存在だが、対照的に、縁起の良いキャラクター、例えば、「魔よけ鬼」や「可愛い鬼」を登場させてみたら、相乗効果があると思う。

■（外国人を呼ぶためのアイデア）「鬼屋」を設置してみたらどうか。「鬼屋」に入って、スリラーを体験させてみては。地獄まつりの趣旨にも合うし、面白いと思う。

■（外国人を呼ぶためのアイデア）さまざまな「鬼」と記念写真が撮れるようにする。ライトスポットを設置し、いろいろな鬼に変装した役者と、鮮明に写真を撮ることができるようにする。夜なので、照明は重要。

インタビュー、アンケートの意見（課題に関連する意見以外）

・：モニター　○：観光客　■：領事

項目	内容
楽しかったこと、魅力を感じたこと	**＜鬼踊り大群舞＞** ○鬼踊り大群舞が面白かった。（８人） ・鬼踊り。（２人） ・子どもも可愛い服を着て踊っていたこと。 ・おもしろい衣装 ・みんなで鬼踊りに参加しているところに感動した。 **＜みこし＞** ○みこし。（３人） ・鬼みこし暴れねりこみ。（２人） **＜食べ物＞** ・食べ物が美味しかった。 ○食べ物が美味しい。（11 人） **＜風景、雰囲気＞** ○風景がきれい。（２人） ○祭りの雰囲気。（２人） ○飾りがきれい（２人） ・子どもから大人まで、みんな楽しんでいる顔をしているところ。 ・外国人と日本人が仲良くしている姿。 ○面白そうな感じ。 ○街で歩いている人が面白い。

	＜そのほか＞ ○人が優しい、親切（３人） ○台湾の文化との違いがあってとても面白い。 ■釜開きの印象が深かった。鬼みこしも初めて見たのでとても面白かった。特に若い女性たちが担ぐことに魅力を感じた。 ○伝統ある衣装。（４人） ○日本らしい祭り。（２人） ○まつりのテーマが面白い。 ○地獄谷の近くで行うこと。 ○花火。 ○サインが分かりやすい。 ○お酒が飲める。 ○全部良い。（６人） ○いろいろな企画がある。 ○携帯を落としたが見つかった。
自分の国でＰＲする内容（自国から見て魅力的なこと）	・祭りの楽しさ。 ・みんなで踊れること。 ・「町中の人が一瞬にして鬼になります！鬼と一緒に踊ります！」 ・「元鬼玉」が記念にもらえること。 ・風景がきれい。 ・食べ物がおいしいこと。
不満だったこと、残念なこと	**＜会場＞** ・トイレが少ない。（２人） ・トイレにたくさん人が並んでいました。 ・大勢の人がいるのに、トイレが４つしかなかった。 ・休憩所が少ない。 ○車が多い ○道路が狭い ○会場が狭い ○飲食店が少ない。 ○座って食べられる場所が少ない。 **＜スケジュール＞** ・開催時間が少ない。 ○イベントを開催している時間が短い。 **＜内容＞** ○食べる・飲むばかりで楽しくない。 ○踊ることができなかった。 ○企画が少ない。（ビール飲む大会など） **＜その他＞** ○外国語を話せるスタッフが少ない。 ○昨年販売していた食べ物（おやき）が今年はなかった。 ○鬼が怖かった。
その他（観覧した感想など）	・いままで、このような祭りに参加して事がなかった。よい経験になった。 ・２日目は外国人観光客が少なかった。

(3)釧路市・イオマンテの火まつり

【調査日：９月１０日（土曜日）～１１日（日曜日)】

阿寒湖温泉では、アイヌ民族が儀式や舞踊を通じて自然の神々に感謝をささげる「イオマンテの火まつり」の公演を９月から 10 月の２か月間、阿寒湖温泉アイヌコタンで毎夜、実施している。

ミシュラングリーンガイドで３つ星を獲得したこともあり、今後外国人観光客の増加が見込まれる中、平成 23 年の冬には「(仮称) 阿寒湖温泉アイヌシアター」が完成し、今後は、全天候型の環境が整い、そこでイオマンテの火まつりが開催されるようになる。

ここでは、次の視点から、外国人観光客が楽しむことができるための方策を検証する。

１　パンフレットの整備による情報提供
２　周辺のサイン状況のチェック
３　公演中の外国語映像案内の整備による外国後対応
４　ムックリ制作体験での受け入れ

1)web サイト

NPO 法人阿寒観光協会まちづくり機構が運営している阿寒湖温泉のウェブサイトは、以前から多言語化され、内容も充実している。

2)パンフレット

同じく上記法人が運営する観光案内所「まりむ館」には、阿寒湖に関わる様々なパンフレットが置かれており、その中には多言語標記のものも多い。阿寒湖温泉では web をはじめ紙媒体に関しても比較的早くから多言語に取り組んできている。

モニターからの意見

パンフレットについて

・火まつりを紹介するパンフレットはもっと広域的に置いた方がよい。

3)会場周辺のサイン

阿寒湖畔の温泉街では、買い物や観光する外国人のために外国語表記が見られる箇所もあるが、イオマンテの火まつりを行う会場については、実演を行う限られた時間内だけ利用される会場であること、また、団体で来る外国人観光客が多いことから、会場までは引率者によって案内されるパターンが多いことなどもあり、会場周辺やその内部には外国語表記の案内板はまだ整備されていない。

モニターからの意見

周辺の看板、サインについて

・会場周辺で外国語の看板を見かけなかった。

4)公演中の外国語映像案内

イオマンテの火まつりで公演されるパフォーマンスや踊りについての紹介を行うため、「中文（簡体)」「中文（繁体)」「韓国語（ハングル)」「英語」で作成した投影システムを設置・作動し、モニターによって、見やすさや理解しやすさの観点から、それぞれの母国語の内容のチェックを行った。

モニターによる定量的な評価（「文章の表現」「文字の見え方」「内容の理解」「映像の効果」）については次の通りであり、その効果や分かりやすさはおおむね評価されたが、字幕のタイミングが合ってないとの指摘ともに、両脇に投影される字幕と中央の舞台を同時に見ることは難しい、事前に概要を理解していないと同時進行の解説では理解しづらい、文字だけでなく写真を取り入れて説明する（踊りの写真を加えると踊りの説明であることが一目で分かる）など、より伝えたいポイントを絞った解説内容にするなどの意見があった。

また、字幕の内容については、一部間違った表現があった。

公演中の外国語映像案内の整備による外国後対応

文章の表現	非常に分かりやすかった（３人） まあまあ、わかりやすかった（１人）
文字の見え方	よく見えた（３人） あまり良くみえなかった（１人）
内容の理解	よく理解できた（３人） まあまあ理解できた（１人）
映像の効果	非常に効果的である（３人） まあまあ効果的である（１人）

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

外国語映像案内について

・観客は舞台を見ているので、そのヨコにあるスクリーンを見る余裕がない。スクリーンでの説明があって、その後公演というようにしてはどうか。
・内容と文字が合っていない部分があった。スクリーンが遅かった。
・公演と文字が少し合わなかった。公演と合わせづらい場合は、説明文とともに写真を掲載すると良いのでは。
・最初に公演のイメージを頭に入れて、その後鑑賞するとようやく意味が分かる。（自分は翻訳の手伝いをしたので分かっていたが、初めて見た人は公演中に一度だけ解説を見ても理解しにくいのではないか。）
・公演前に、演目の内容や目的、鑑賞ポイントなどをスクリーンに映した方が良い。
・公演前に、スクリーンで概要を上映してほしい。
・公演前に、外国語での説明を一度上映してはどうか。その方がその後の上演が楽しめる。
・同じスクリーンで複数の言語を上映することは問題ないが、言語によって色が分かれていた方が良い。
・切り替えが早かった。
・公演中の説明を全部訳して掲載する必要はない。
・舞踏の時、ミュージカルみたいにあらすじが伝わるようにしたらもっと面白くなる。

■現在の上演方法では、スクリーンと観客の距離が近すぎて観客が鑑賞しにくように感じた。また、アイヌの中国語訳は、正確な訳を使用して頂きたい。演目の紹介は、現在、簡体字と台湾の繁体字をそれぞれ使用しているが、訳文を見ると違う部分があり、混乱してしまう。

■火祭りの内容は、事細かに説明する必要はなく、物語のあらすじを解説するか、先に印刷されたパンフレットなどを観客に見てもらった方がいい。

［表］　字幕のチェック（間違い箇所）

	間違っている箇所	訂正の内容・仕方
中文（簡体）	今天獵人豆去山中打獵	今天獵人都去山中打獵
	上猶長老、下有我妻兒	上有長老、下有我妻兒

5)ムックリ制作体験

イオマンテの火まつりの他に、モニターにムックリの制作体験に参加してもらった。アイヌ民族の楽器である「ムックリ」を、刃物を使って材料である竹から制作し、音が奏でられるようになるまでの体験ができる機会であり、指導者の説明に沿って制作を楽しんでいた。

参加した感想は好評であったが、ムックリ以外の工芸体験メニューを求める声や、日本語が分からない外国人観光客が参加する際には、作り方の指導については外国語での対応が必要（難しい場合は説明書を併用する）である、などの意見があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

ムックリ制作体験について

・ムックリの制作体験はとても良かった。他の工芸品の制作体験もあれば良いと思う。
・ムックリ制作体験の時に外国語の説明がなかった。（難しい場合は紙での説明でも、あったら嬉しい。）

６）今後の魅力向上＆改善点

発地での情報

白老ポロトコタンと同様に、アイヌ民族に対する関心が高く、観光的要素の他に、アイヌ民族の歴史や現状に関する情報を求める声が多く聞こえた。

また、阿寒湖畔には、船上からの観光だけでなく、湖畔の風景や自然を楽しめる散策路が整備され、阿寒湖周辺の自然について学べるエコミュージアムセンターなどがあり、花畑や田園風景とひと味違った「北海道の美しさ」を感じたり学んだりすることができる場所でもある。温泉やアイヌコタンの魅力とともに、これらの多様な観光要素についても積極的に伝えていくことが求められている。

着地での情報

会場で欲しいと思った情報

	◎：ぜひ欲しい　○：有ると良い　△：特に必要はない
緊急対応	◎　◎　△　△
観光情報	◎　◎　○　○
移動方法	◎　◎　○　○

楽しむ仕掛け

①舞踊の解説

イオマンテの火まつりは、アイヌ民族のある晩の様子をフクロウが見守るという場面設定の中で、フクロウの語りによる説明とともに、さまざまな舞踊が繰り広げられる。

その中で披露されるアイヌ民族の踊りについて、台湾や内蒙古などアジアでは類似する踊りがあることから、その類似点や相違点を感じながら、興味深く見ることができたとの意見があった。

各踊りの場面では、どのような内容を意味しているのか、どのような際に踊られるのかなどの説明があるが、海外の舞踊との比較説明なども含めて、より親しみや関心を引きつけるような解説があると印象深い観光となると考えられる。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・黒髪踊り。中国少数民族の舞踏と似ていたのが魅力的だった。

■中国内蒙古にも同じようなショーがある。スケールが大きくもっと迫力がある。

・アイヌ民族の黒髪の舞と、台湾の原住民族の髪を使った舞が似ているところがあるので、親しみを感じたり、違いを楽しむことができる。

・インターネットで「イオマンテ」を調べたら、「アイヌの儀礼のひとつで、ヒグマなどの動物を殺してその魂であるカムイを神々の世界に送り帰す祭りのことである。」と説明があったが、上演の中でそのような説明がなかったので残念だった。

②体験機会、記念になるもの

まつりの最後には、参加者と一緒に踊る機会があるが、その時間はあまり長くなく、アイヌの人を見ながら、見様見真似で踊ることから、踊り方について説明が欲しかった、もっと一緒に踊りを楽しむ時間をとってもらいたかったとの意見がモニターからあった。

また、アイヌ民族衣装をまとったアイヌの人と写真を撮りたいと思っている外国人観光客は多く、写真撮影が十分できる場や機会を設けることが望まれている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

・上映時間が短く、見ている側は物足りなさを感じた。

□上演時間が短い。また、観光客が参加する機会が少ない。[ﾒﾃﾞｨｱ]

・アイヌ民族の言葉を一言でも教えて欲しかった。

・最後に踊りを一緒に体験する時、説明が少ない。踊り方を紹介し、解説してから行った方が良い。

・公演後、公演者と一緒に写真を撮れなかった。踊りの後ごとに記念写真を撮る機会があると良い。

・木彫りが有名なので、木彫りのストラップでできたチケットを購入するようにするなどしたら楽しいのでは。

③会場の雰囲気（野外会場の良さ）

イオマンテの火まつりの会場は、平成 24 年に専用シアターが完成することから、屋外で行われるのは今年が最後となる。これまでの屋外の会場は、木々に囲まれ、火まつりの神秘的な雰囲気を醸し出しており、屋外公演がなくなることを惜しむ声も聞こえた。

一方、今回設置した多言語案内ができる投影システムについては、施設の設備が整うことによって、海外の観光客にとっても、より適切に、分かりやすく内容を伝えることが可能になることが期待されている。

これまでの火まつり会場の雰囲気の良さをできる限り取り入れるとともに、バリアフリーやグローバル化をより進め、多様な国の多様な年代の観光客が公演を楽しめるようになることが望まれている。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

■森林の中での、神秘的で、女性と男性の野性的な舞踊が魅力的。
■（外国人を呼ぶためのアイデア）現在、劇場の建設計画があり、一年を通じて季節の影響を受けずに実演が可能ですが、野外での実演を継続してみてはどうか。検討の余地はあると思う。可能であれば野外で夏は野外で実演するというのはどうか。

④「中国の映画のロケ地」としてのPR

阿寒湖畔は、中国の映画のロケ地となったことから、多くの中国人に知られるところとなり、ロケ地を見たいという気持ちを持って阿寒湖畔に来る中国人観光客も見られる。

現状では、ロケ地に使われた店の前に看板が掲げられているが、場所の説明やＰＲは積極的に行われていない。中国人観光客にもっとロケ地であることをアピールすることも必要であると考えられる。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

□阿寒湖は中国の映画のロケ地になったこともあり、中国では有名になったが、阿寒湖温泉街では、映画の撮影地の場所を表示していない。［ﾒﾃﾞｨｱ］

インタビュー、アンケートの意見（課題に関連する意見以外）

・：モニター　○：観光客　■：領事　□：メディア

項目	内容
楽しかったこと、魅力を感じたこと	・踊りに参加できて楽しかったが、時間が短かった。 ・アイヌ民族の歌や踊り、物語のＢＧＭの使い方やタイミングが良く、観客が物語の情景に入り込みやすかった。アイヌ民族のまつりをより理解することができた。 ・現代化された国の中で、美術や音楽などの分野で独自の文化を持っているところ。 □伝統を守っていることが一番印象的だった。［ﾒﾃﾞｨｱ］ ■アイヌ民族には独特の文化、魅力があり、イオマンテの火祭りの実演があるのは分かりやすくて良いと思う。実演を毎日行うと更に良いのではないか。 ■火の矢を射って、たき火を燃やすところ。 ■ムックリの音色は特別。 ■年寄りの女性の歌声でのアイヌ民族独自のメロディーがユニーク。 ■本物のたき火で、雰囲気（神秘さ）をかもしだすこと。

自分の国でＰＲする内容（自国から見て魅力的なこと）	・「アイヌ民族のイオマンテの火おどりは、大地への感謝の踊りである。」 ・アイヌ民族の歴史、伝統。 ・火まつりは日本の他の地域では見られない特別なものであること。 ・火まつり以外にも、周辺の観光施設もいろいろ楽しめるということ。 ・アイヌの長老は松明に点火する時少し刺激的で、人を驚喜させる感じがあった。 ・ムックリと楽器の演奏。 ・ムックリの制作体験ができる。 ・民族舞踊 ・湖畔の美しい風景と地元の方々の人情味を楽しめるところが良い。 □中国の観光客はにぎやかな場所が楽しいと思う。阿寒湖はイオマンテの火祭りのプログラムをもっと豊富にしてほしい。［ﾒﾃﾞｨｱ］ ■神秘的な祈りの上演によって、心を捉えられるところ。
不満だったこと、残念なこと	・観客が少ない。 ・座席の高さを、もう少し後ろの方ほど高くすると、もっと見やすくなると思う。 ・演じている人は本当にアイヌ民族の方だったのか？そのように見えなかった。 ・白老のポロトコタンの夜と比べて規模の大きさを期待していたが、期待より規模は小さかった。 ■ライトはたき火に合わない。できたら木の幹の中に埋蔵してみたらどうか。また、儀式があまりにシンプルすぎた。単純で迫力に欠ける。
外国人を呼ぶためのアイデア	・きれいな風景、癒し、自然、体験（レンタカー・バイク・温泉・山登り・釣りなど）などをアピールする。 ・阿寒湖周辺でしか味わえない料理（札幌ならジンギスカン、函館ならイカ‥というようなイメージがある）阿寒湖畔の地元料理は何か？アイヌの料理などをアピールできないか。 ・彩り豊かで美しい歌や踊りを見た後、心身ともに癒される温泉につかることができることは間違いなく阿寒湖の魅力となっている。 ・観光客が直接参加できるプログラムが多くなると良い。（ムックリの制作体験、踊りの体験のようなもの） □アイヌ民族の昔の居住地として、もっとアイヌの特徴を展示した方がいい。例えば、アイヌの言葉を街で使うなど。日本の他の場所と違うことを強調した方が良い。［ﾒﾃﾞｨｱ］ ■カターと魚棒とたき火踊りを一緒にしたら効果的になるのではないか。
その他（観覧した感想など）	・阿寒湖畔は、人が少なく、静かで良いところである。 ・ホテルから会場までは、天気が良ければ歩いていく方が良い。 ・観光船は、湖の中に止まる時間が短かった。 ・露天風呂を期待していたが、泊まるホテルの露天風呂ではなかった。

(4) 白老町・ポロトコタンの夜

【調査日：８月６日（土曜日）】

「白老ポロトコタン」は、北海道の先住民族アイヌの歴史と文化を紹介する野外博物館で、アイヌ民族の生活に関わる建物や資料などの野外展示、博物館での展示が行われている。

また、７～８月の間（平成 23 年は 7/29(金)・30(土)、8/5５(金)・6(土)・11（木）・12(金)・13(土)の計７日間）には、アイヌ民族博物館を会場にした夜間特別プログラム「ポロトコタンの夜」を開催し、かがり火に照らされたチセ（アイヌの伝統的家屋）などを巡り、館内で、白老のアイヌ民族に伝わる伝統的な「祈り」「歌」「踊り」「食文化」に関する実演を体験することができる。

ここでは、次の視点から、外国人観光客が楽しむことができるための方策を検証する。

１　パンフレットの整備による情報提供

２　館内のサイン状況のチェック

３　ガイドや司会などスタッフによる外国度外国語対応のチェック

1) web サイト

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

ホームページについて

・ポロトコタンの夜についてインターネットでアピールがなかった。北海道イベントサイトにもあまり見かけなかった。

2) パンフレット

パンフレットについては、「中文（簡体)」「中文（繁体)」「韓国語（ハングル)」「英語」で作成し、モニターによってそれぞれの母国語のパンフレットについてチェックを行った。

内容についてはポイントが分かりやすい工夫や交通アクセスに関する情報を求める意見があったが、配布のタイミングや配布場所に関して「できるだけ早く、多くの場所で得られるように」という意見もあった。

また、パンフレットの内容については、博物館や「ピリカ」というスペル、鮭のトバ、コンビニの端末などの説明上で間違った表現があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

パンフレットについて

・パンフレットを持っている人が少なかった。チケットを買うときに一緒に渡す、団体で来る外国人には移動中のバスの中で渡すなど、できないか。会場に来てからではなく早めにパンフレットが届くようにするべき。
・パンフレットが置いてある場所が少なかった。自分の国の言語のパンフレットが園内にあまりなかった。
・ＪＲの駅やコンビニに割引チケットと共にパンフレットを置いてはどうか。
・パンフレットに、各施設の特色と観光ポイントを加えて欲しい。
・札幌からのアクセス（JR で、車で、バスで）を掲載してほしい
・（文中にあった）「Cluture exchanage」とは具体的に何の交換か。
・強調したい部分にマーカーやマークなどをつけてほしい。
・Introdukuchion（紹介文）の英訳が少ない。

［表］　パンフレットのチェック（間違い箇所）

	間違っている箇所	訂正の内容・仕方
中文（繁体）	特別套票	優惠組合票
	料金包含	票價包含
	Loppi 網頁頂部	Loppi 網頁上方
	打印	列印
	末端操作儀器	購票機
	顫音	料音
	熏製鮭魚	燻製鮭魚
英語	Pirka	Pirika

3)館内のサイン

館内のサインについては、全般的に外国語対応の充実を求める声が多かった。

また、施設説明や見学順に関する案内のほか、会場内で接しているポロト湖畔の安全状況（湖に近寄り過ぎると危ないなどの情報提供）についても、外国人向けに説明が必要であるという意見があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

会場内の看板、サインについて

・会場内の地図と説明はあった方がよい。
・韓国語の情報が必要。建物の名前も韓国語では全然書いていない。韓国人には難しい。
・駐車場のサイン。
・看板の英訳が少ない。
・歩く順番のサインがない。
・英語版の看板の字が小さかった。
・建物の外のトイレのサインがない。
・子どもの安全のため、湖の周辺の安全状況を提供した方が良い。

4）スタッフによる外国語対応

館内を案内するガイド、司会など上演の進行に関わるスタッフの対応についても、館内のサインと同様に外国語での対応を求める意見があった。

また、館内の見学ポイントの紹介のほか、アイヌ民族についてもっと詳しく知りたい、現状を教えて欲しい、言葉について学びたかったという内容の充実を求める意見もあった。

実演については、始める前の簡単なアナウンスや実演中の補足の案内を求める意見があった。

モニターからの意見ほか（○は観光客、領事など）

外国語対応について

＜全体＞
・ガイドが有料か無料かの案内がなかった。
・英語に関する説明が少ない。
・アイヌ民族の生活状況と服飾を紹介した方がよい。
・アイヌ民族の言葉を教えてほしかった。
・実演の案内者やガイドの説明に、各施設の特色と見どころポイントを加えて欲しい。
■博物館の解説員も、公演の司会者も、全部日本語なので、日本語の分からない外国人観光客は言っている意味が分からないので来ないおそれがある。十分な英語や中国語、韓国語の文字説か通訳が必要。
■現在のアイヌ民族の生活状況、婚姻状況が紹介されていない。
■アイヌ民族はどういう民族なのか、その歴史と現在の状況の紹介がなく、外国人観光客の興味を引きつける力が足りない。大幅な補充が必要。

＜博物館＞
・英語の音声案内。博物館を見学するとき、ガイドがいないと、見学の順番やアイヌ民族の特別さを理解することができないのではないか。
・外でガイドのマイクがないので聞き取りにくい。ガイドの元気もなかった。

＜実演＞
・実演が始まる前に英語の簡単な案内がない。
・案内の放送を、英語や韓国語でしてほしい。

5)今後の魅力向上&改善点

発地での情報

①アイヌ民族の歴史、固有性のアピール

アイヌ民族の歴史や日本人との違い（固有性）、文化や生活様式などに対する関心を強く持っている外国人観光客は少なくない。衣装や踊りの様子の美しさ、珍しさだけでなく、アイヌ民族やその文化についてより深く積極的に広報していくことが、観光動機につながると考えられる。

②チケットの買い方の改善

「ポロトコタンの夜」では、コンビニでのチケット販売も行っており、チケットをコンビニで事前購入すると 500 円引きになっている。今回、モニターにコンビニ経由でチケットの購入を行ってもらったところ、割引についての情報が伝わらず、割引状況が分からなかったという感想があった。また、日本のコンビニで端末を自ら操作してチケットを購入することは難しいのではという意見もあった。また、このようなチケットを予約するという習慣がないという意見もあった。コンビニ店員にチケット購入の意向を伝えればコンビニ側で発券して手渡ししてくれるなど、外国人当人が端末を操作せずに購入できるような工夫が求められている。

モニターからの意見

- チケットの買い方。事前に買う方法が分からない。外国人はコンビニでチケットを買うことは少ない。
- コンビニでチケットを購入するとどのぐらい割引になるのかが分からなかった。予約するという概念があまりないので分かりづらかった。
- コンビニでチケットを購入する際、端末操作が難しい。カウンターで用紙を見せたら店員からチケットが購入できる‥というようなシステムの方が良い。

着地での情報

会場で欲しいと思った情報

	◎：ぜひ欲しい　○：有ると良い　△：特に必要はない
緊急対応	◎　◎　◎　○
観光情報	◎　○　○　○
移動方法	◎　◎　◎　○

①外国語対応の充実(サイン)

現状では、多様な外国語に対する看板の整備が行われていないことから、トイレなどの基本情報とともに、いくつかの建物で構成されている博物館である性質上、建物に関する外国語表記の充実を求める声があった。また、近年は子どもや高齢者を連れてのファミリ

一層での観光も増えており、子ども安全を守るための情報、高齢者への配慮に関する情報などについても、きめこまやかに案内することが必要である。

楽しむ仕掛け

①実演の説明

実演では、アイヌ民族の踊りの紹介などとともに、鮭の干物を通じての食文化の紹介がある。干物の試食をしたり、観客とユーモラスな会話のやり取りが行われるパフォーマンスは、モニターや領事にも好評であった。

現在の（あるいは昔の）日本の文化と異なるアイヌ民族の存在を知り、観光としての興味を超えて関心を持つ外国人観光客も多く、独特の衣装や踊りの由来をはじめ、生活文化の特徴、アイヌ民族の現状など、学術的な説明が外国人観光客にも十分伝わることが求められている。

モニターからの意見

- （自分の国でＰＲする内容）屋根の梁に吊してあった「魚の干物」をその場で食べることができる。
- 魚の干物を切り分ける前に、観客との掛け合いがあったことが非常に良くて面白かった。見ている人もとても楽しめた。アイヌの方に干物を分けてもらうことによって、まるで自分がアイヌの人となって祭に参加しているように感じることができた。
- 最後にあった食文化の説明がおもしろかった。
- 魚を食べる機会もあって嬉しかった。
- すごく満足したが、席によって見やすいところと見えにくいところがあったのが残念だった。
- 煙の処理が必要だと思った。
- 服飾が原住民ではない感じがした。

②体験機会（アイヌ語を学ぶ、踊りへの参加、写真撮影など）

アイヌ民族についていろいろ知りたい、という意見とともに、挨拶など簡単な言語について学びたい、神秘的な踊りに参加したい、アイヌの人々と一緒に写真が撮りたい、などの体験の場を求める声が多く聞こえた。

さまざまな体験を通じて、アイヌ民族についてより親しみを感じてもらえるような機会が増えることが望まれている。

モニターからの意見

- 自分で何か参加（体験）したい。旅行の思い出になるので。
- もしできるのであれば、自分もアイヌ民族の舞を体験してみたい。
- （外国人を呼ぶためのアイデアとして）原住民を模して、いろいろな体験をすることができるとよい。
- （外国人を呼ぶためのアイデアとして）アイヌ言語の勉強機会（挨拶など）

インタビュー、アンケートの意見（課題に関連する意見以外）

▪：モニター　○：観光客　■：領事　□：メディア

項目	内容
楽しかったこと、魅力を感じたこと	・ムックリの演奏 ・踊りや楽器を用いた演奏が楽しかった。 ・歴史的に古いこと。 ・夕食の牛肉が美味しかった。 ・踊り。 ・アイヌ民族の家が独特だった（魚の飾り）。 ・ムックリ演奏の勉強。 ・アイヌ民族の火の神に祈りを捧げる儀式と歌と舞い ■昔のアイヌ民族の生活の様子が分かった。 ■アイヌ民族の方々に実際に会うことができたこと、一緒に写真をとったこと。 ■神秘的な民族であった。 ■舞踊、楽器を鑑賞したこと。
自分の国でＰＲする内容（自国から見て魅力的なこと）	・耳だけでなく、目で直接見ることができること。 ・普通の日本の歴史的なまち（京都や奈良）と違い、アイヌ民族の特別なところ。 ・体験できること。 ・美味しい食べ物。 ・ムックリ演奏の楽しさ。 ・アイヌの人々が実際にやっていた火の神への儀式 ■日本で唯一の少数民族であるアイヌ民族の方々が目の前に見えること。 ■昔のアイヌ民族の生活状況が分かること。 ■民族舞踊が魅力的であること。
不満だったこと、残念なこと	・観光客の人数が少ない。 ・休憩所が少ない。
外国人を呼ぶためのアイデア	・アイヌ民族は日本の先住民族だということをアピールする。 ・アイヌ民族の衣装デザインをＴシャツにして販売（特にきれいな柄を）。
その他（観覧した感想など）	・観光客を夜に集める企画は良いと思った。 ・すごくいい経験になりました。

5. 今後の課題

【まつり目的に来る観光客はまだまだ少ない】

現状においては、ひとつの地域の単独の祭りのためだけに観光に来る外国人観光客は非常に少ない。一方、たまたま祭りに出会った観光客の多くは、思わぬところで日本の文化に接する機会を持つことができ、楽しんでいた。

モニターからも、いくつかの祭りをある程度まとまった地域や期間で楽しめるという条件が整えば、外国人観光客もまつりに合わせて観光に来るようになる可能性は高いという意見があった。

北海道内で、いつ・どこで・どのようなまつり・イベントがあるかを、外国人観光客向けにもより一層分かりやすく伝えることが必要と考えられる。

【情報の収集は、観光地側の発信だけではない】

外国人観光客の中には、まつり・イベントの情報も含め観光に関する情報は、日本側が作成したホームページからの情報だけでなく、参加した自国の人が（You tube や Facebook など）Web 上で独自に発信する情報を参考にするも少なくない。

実際に、日本の観光情報を収集する際には、同じ国の人のブログを見て参考にする外国人は多く、特に、若い年齢層や（個人観光が多い）韓国からの観光客は、自国の個人ブログを参考にすることが多い、というモニターの意見もあった。

受け入れ側として伝えたい情報とともに、参加した人の感想や様子をより積極的に発信することや、参加した外国人観光客の協力を得て、臨場感が伝わるような情報発信を行ってもらうようにすることが効果的であると考えられる。

【パンフレットが届かない】

近年、外国人観光客の増加に合わせて、外国語対応にパンフレットを作成する自治体も増えているが、対象である外国人観光客に、あらかじめ的確に届くための工夫までは十分に行われていないのが現状である。モニターからも、外国人観光客がパンフレットを持っていなかった、パンフレットが手元にないために基本的な情報がなくて困っていた、などの声があった。パンフレットの整備や中身の充実とともに、ターゲットである外国人観光客に的確に届く配置の工夫ももっと必要である。

特に、台湾やシンガポールからの観光形態は、団体観光が主であり、旅行業者を通じて、より事前にパンフレットが伝わるようにすることなども必要と考えられる。

【アイヌ民族の存在や歴史について知られていない】

今回の観光地の中で、モニターに知られていた観光地は登別や富良野であった。しかし、登別は温泉、富良野はラベンダーの印象のみが強く、特に富良野は、「へそ祭り」が富良野のイメージと異なって驚いた（新鮮だった）という感想があった。また、阿寒湖は行きたい場所であったが、（自分の住む札幌から）遠いのでこれまで行く機会がなかった、というモニターの声もあった。

また、白老や阿寒でアイヌ民族について知ることができるということは、あまり知られておらず、さらには、日本人と異なる歴史や文化を持つ「アイヌ民族」が、日本に現存すること自体が、あまり知られていなかった。

多民族国家からの外国人観光客の中には、アイヌ民族に民族的な関心を持っている人も多く、踊りなどで自国の舞踊と似ている部分を感じ、親しみを感じる人もいた。また、もっとアイヌ文化について知りたい、触れたい（体験したい）という声もあった。外国人観光客がアイヌ民族の歴史や文化を学んだり、体験できる場や機会を、より一層広げることが必要と考えられる。

【地元のまつりやイベントを楽しみたいが言葉の壁がある】

現在道内で行われているまつりの多くは、地元や周辺地域の人を対象としたものであり、道外の観光客や外国人観光客を意識した内容には必ずしもなっていない。しかし、海外からの個人観光客が増えていく中で、これまで外国人の姿がほとんど見られなかった地域でも、外国人観光客が訪れるようになってきている。

日本人の観光客にとっても、地域のまつりに参加すると、地元の人たちに混ざって、地域の人たちと自然に交流でき、観光客として特別な扱いを受けることなく、買物や飲食を楽しむことができることは魅力である。外国人観光客の中にも同じように、地元の人に交じって、その地域の素顔をのぞきつつ、何気なく祭りを楽しめることに魅力を感じた人は少なくないと思われるが、言葉の壁があり、十分に楽しめないのが現状である。

また、富良野や登別のように祭りに参加できる機会を設けて外国人観光客の参加を積極的に進めている地域もあるが、一緒に祭りに参加できることやその楽しさを文章だけで外国人観光客に伝えることは難しく、パンフレットやホームページの呼び込みだけでは参加しようという気持ちにまではなかなかなれないというモニターからの感想もあった。

北海道全体で外国語対応に対する環境を向上させるとともに、大がかりなサイン整備や外国語表記の整備を行わないまでも、まつりやイベントの期間は、想定できる最低限のコミュケーションが交わせ、ＰＲができる体制を整えておくことが必要と考えられる。

【日本人が持つ祭り会場の情報感覚は、外国人にはない】

まつりやイベントの会場は、大勢の人で混み合い、会場には、臨時の総合案内所や仮設トイレが設置されたりする。

日本人観光客にとっては、会場の地図がなくても、総合案内所やトイレがどこかにあることや、その位置について、おおよその見当がつく場合が多い。しかし、外国人観光客にとってはその見当をつけることが難しく、場所を尋ねることもできず困った、という声が観光客からも聞こえた。せっかく総合案内所で外国語対応を行っていても、その案内所の存在や場所が伝わらないと機能しない。

海外からの個人観光客が増える中、総合案内所の情報、トイレの情報、救急や避難に関する情報など、まつりやイベント会場で最低限必要な情報については、外国人観光客にも伝わるような環境整備が必要と考えられる。

【関連資料】

富良野北海道へそ祭り　モニター調査マニュアル……　９３
富良野北海へそ祭り　アンケート票　……　９３
富良野北海へそ祭り　モニター調査　調査票　……　９４
富良野北海へそ祭り　ホームページ調査票　……　９６
富良野北海へそ祭り　観光客インタビュー票　……　９６
登別地獄まつり　モニター調査　調査票　……　９７
白老ポロトコタンの夜　モニター調査　調査票　……　９９
白老ポロトコタンの夜　アンケート票　……　１０１
白老ポロトコタンの夜　観光客インタビュー票　……　１０１
阿寒イオマンテの火祭り　モニター調査　調査票　……　１０２
阿寒イオマンテの火祭り　観光客インタビュー票　……　１０４
阿寒イオマンテの火祭り　アンケート票　……　１０４
阿寒イオマンテの火祭り　ナレーション台詞　……　９９

富良野北海へそ祭り　モニター調査マニュアル

●目　　的　①祭りに来た外国人観光客が楽しめるよう、工夫したら良い点や外国語表示をしてほしい場所を探します。
【今回整備した内容について】
・外国語版パンフレット　・会場内の看板（会場インフォメーション看板）
②へそ祭りに外国人観光客に来てもらうため、PR のポイント（外国人にとって魅力となること）を探します。

●工　　程

7 月 28 日（木）

時間	スケジュール	モニタータスク
10：15	集合	このマニュアルと、 ●モニター調査票 ●インタビュー票を確認して 会場で何をチェックするか頭に入れておいてください。 ※ホームページのチェックは後日メールにて調査票を送りますので、調査票の返信もメールにてお願いします。
	新千歳空港	
	新富良野プリンスホテル	
16：00	モニター・スタッフ顔合わせ@ホテルロビー	夕食@ホテル
18：00	へそ祭り会場	タクシーで移動
	調査開始	※看板など、外国人への情報提供について気にしながら、祭りを観覧・インタビューをしてください。 **①【全員】各言語のパンフレットを手に入れてください。** 配布場所：本部テント/特設ステージ **②【Wang Wanyong・Nicole Shi】へそ踊り参加（International team）** →17：00 観光案内所集合。準備・参加については、現地の案内に従ってください。 →へそ踊りに参加している外国人観光客にインタビューしてください。 **②【Que Liting・Chui Huizhen】祭り観覧&インタビュー** →会場を自由に歩いてお祭りを楽しんでください。 →会場にいる外国人観光客にインタビューしてください。
19：00 ～20：00	へそ踊り開始	
21：00	集合場所は現地にて	ホテルへ移動・宿泊 調査票の記入

7 月 29 日（金）

時間	スケジュール	モニタータスク
9：45	ホテルロビー集合	会場へ移動
10：00	**調査開始**	**【全員】YOKOSO!FURANO ブースで各コーナを体験** →できるだけ多くのブースを体験してください。 →会場に来ている観光客にインタビューしてください。
12：00		**祭り観覧** →会場に来ている観光客にインタビューしてください。
13：00	終了	※札幌出発までに各自昼食を
14：10	JR 富良野駅札幌へ出発	調査票記入→調査票回収は、サンサポート北海道へ
16：28	札幌駅着	

北海へそ祭り　アンケート票

■お名前：

1. へそ祭りで楽しかったこと、魅力を感じたことは何ですか。見たプログラムなども併せて具体的に書いてください。

2. ご自分の出身国の観光客に対してへそ祭りをＰＲするとしたら、何を PR しますか？ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることは何ですか。（いくつか挙げてください）

2-3. へそ祭りで満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4. その他祭りに参加した感想や、外国人観光客を呼ぶためのアイディアがありましたらお書きください。

北海へそ祭り　モニター調査　調査票

■モニター氏名：　　■言語：

1.整備内容（情報提供）の検証～改善の可能性の抽出

1-1.　パンフレットに間違った訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし
□2.　あった

間違っている表現	→	適切な表現

1-2.　今回パンフレットになかった情報で、載せたほうがよい情報はありますか。

1-3.　看板（YOKOSO!FURANO ブース・会場インフォメーション看板）に誤訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし
□2.　あった

間違っている表現	→	適切な表現

1-4.　祭り会場内の地図の情報はわかりやすかったですか？

□1.　わかりやすかった
□2.　わかりにくかった
［わかりにくい理由］

1-5.　祭り会場内の案内や看板サインは十分でしたか？今回はなかったが、会場にあると便利だと思った看板はありますか。

□1.　看板は十分だった
□2.　会場にあると良いと思う看板

1-6.　【特にへそ踊りに参加した　Wang Wanyong さん/ Nicole Shi さんへの質問】
へそ踊り参加の感想をお書きください。また、祭りの当日参加について困ったことはありませんでしたか。

□1.　感想

□2.　参加する上で困ったこと、また、その改善点の提案

1-7 会場で欲しいと思った情報はなんですか？

□避難場所など緊急対応について	1．ぜひ欲しい	2．有ると良い	3．特に必要ない
□周辺の観光情報	1．ぜひ欲しい	2．有ると良い	3．特に必要ない
□会場から観光施設への移動方法	1．ぜひ欲しい	2．有ると良い	3．特に必要ない

□2 日間を通して、困ったこと、必要と思われる情報や施設を書いてください。

（例：困った場面→内容の説明が理解できていれば、参加・観覧したなど　トイレが少ないなど）

1-8.YokosoIFURANO ブースについての感想（楽しかった、困ったことなど）

参加したブース	感想（楽しかったこと、困ったことなど）

2.祭りのＰＲポイントの抽出

2-1.へそ祭りで楽しかったこと、魅力を感じたことは何ですか。見たプログラムなども具体的に書いてください。

2-2. ご自分の出身国の観光客に対してへそ祭りをＰＲするとしたら、何を PR しますか？ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることは何ですか。（いくつか挙げてください）

2-3. へそ祭りで満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4.　その他祭りに参加した感想や、外国人観光客を呼ぶためのアイディアを書いてください。

7/28～7/29 北海へそ祭り　モニター調査票

北海へそ祭り　モニター調査　ホームページ調査票

北海へそ祭りホームページの外国語サイトを調査してください。各言語の URL は以下の通りです。
◎英語…http://www.furano.ne.jp/hesomatsuri/en/　◎簡体字…http://www.furano.ne.jp/hesomatsuri/sn/
◎繁体字…http://www.furano.ne.jp/hesomatsuri/tn/ ◎韓国語…http://www.furano.ne.jp/hesomatsuri/kr/

1.まず、上記のアドレスを使わずに「富良野北海へそ祭り」を検索してみてください。
(各言語を使い、日本以外から検索すると仮定して)

1-1.使った検索エンジン名　(例：Google/百度など)

1-2.検索に使った単語を書いてください。また、その言葉で目的のサイトを見つけることができましたか？

検索した単語	上記のサイトが見つかったか
	□見つかった　□見つからなかった
	□見つかった　□見つからなかった
	□見つかった　□見つからなかった
	□見つかった　□見つからなかった
	□見つかった　□見つからなかった

2.自分の母国語の「富良野北海へそ祭り」のページ（上記 URL）を調査してください。

2-1.ホームページの各メニューのページで、わかりにくかった表現・改善点の提案はありますか。

メニュー	わかりにくかった表現・改善点の提案
トップページ	
へそ祭りの歴史	
へそスポット	
図腹について	
へそ踊りの踊り方	
プログラム	
会場図	
参加の仕方	

3.その他にホームページで提供したほうが良いと思う情報、その他気がついた点をお書きください。

-5-

北海へそ祭り　観光客インタビュー票

■モニター氏名：

インタビュー回答者について

1 性別：□男性　□女性　2.出身国：_____（□日本在住:_____市町村 ）
3.年代：□10 代　□20 代　□30 代　□40 代　□50 代　□60 代　□70 代以上
4.旅行形態：□個人旅行（家族・友人・1 人・その他_____）
□団体旅行
5.今回の旅行の予定をお聞かせください。
（□期間：　　日間　□訪問地：　　）
6.今回の旅行の目的をお聞かせください。（例：祭りに参加、花を見る、温泉など）
（　　）

1.祭りは楽しいですか。

1.楽しい　2.まあまあ楽しい　3.どちらとも言えない　4.あまり楽しくない　5.楽しくない

お祭りの楽しいところや魅力	残念なところ

2.へそ祭りの情報はどこで知りましたか。

□インターネット（サイト名_____）　□旅行会社
□旅行ガイドブック（ガイドブック名 _____ ）
□北海道（富良野）の観光案内所・ホテルなど　□知人から聞いた
□その他［　　］

3.お祭り会場で困ったこと、不便に思ったことはありましたか？

登別地獄まつり　モニター調査　調査票

■モニター氏名：　　■言語：

1.整備内容（情報提供）の検証～改善の可能性の抽出

1-1.　A4　3つ折りパンフレットに間違った訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし

□2.　あった

間違っている表現	適切な表現

1-2.　「登別地獄まつり」の内容は、理解できましたか?

□1.　理解できた

□2.　理解できなかった

理解できなかった理由

外人観光客が、楽しむために必要だと思うこと

1-3.　パンフレットになかった情報で、載せたほうがよい情報はありますか。

1-4.　まつり本部（イベントインフォメーション）ならびに、インフォメーションプラザ前の看板に誤訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし

□2.　あった

間違っている表現	適切な表現

1-5.　祭り会場内の案内や看板サインは十分でしたか？今回はなかったが、会場にあると便利だと思った看板はありますか。

□1.　看板は十分だった

□2.　会場にあると良いと思う看板

1-6.　【特に「鬼踊り大群舞」に参加した　Wang Wanyong さん/ Nicole Shi さんへの質問】

鬼踊り大群舞への参加の感想をお書きください。また、祭りの当日参加について困ったことはありませんでしたか。

□1.　感想

□2.　参加する上で困ったこと、また、その改善点の提案

1-7.　会場で欲しいと思った情報はなんですか？

□避難場所など緊急対応について　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない
□周辺の観光情報　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない
□会場から観光施設への移動方法　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない

□2 日間を通して、困ったこと、必要と思われる情報や施設を書いてください。

（例：困った場面→内容の説明が理解できていれば、参加・観覧したなど　トイレが少ないなど）

2.祭りのＰＲポイントの抽出

2-1.登別地獄まつりで楽しかったこと、魅力を感じたことは何ですか。見たプログラムなども具体的に書いてください。

2-2.　ご自分の出身国の観光客に対して登別地獄まつりをＰＲするとしたら、何を PR しますか？ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることは何ですか。（いくつか挙げてください）

2-3.　登別地獄まつりで満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4.　その他祭りに参加した感想や、外国人観光客を呼ぶためのアイディアを書いてください。

「ポロトコタンの夜」　モニター調査　調査票

■モニター氏名：　　■言語：

1.整備内容（情報提供）の検証～改善の可能性の抽出

1-1.　二つ折りパンフレット（A3 サイズ）に間違った訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし
□2.　あった

間違っている表現	適切な表現

1-2.　パンフレット（演目紹介・A4 サイズ）に間違った訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし
□2.　あった

間違っている表現	適切な表現

1-3.「ポロトコタンの夜」の内容は、理解できましたか?

□1.　ほとんど理解できた　□2.理解できないところがあった　□3.　全く理解できなかった

□２.理解できないところがあった/3.全く理解できなかったと答えた方へ。

①理解できなかった理由

②外国人観光客が、楽しむために必要だと思うこと

1-4.　パンフレットになかった情報で、載せたほうがよい情報はありますか。

1-5.　会場入口の看板に誤訳や違和感のある表現はありましたか。

□1.　特になし
□2.　あった
□3.　英語以外の表記（繁体字・簡体字・韓国語）も必要

間違っている表現	適切な表現

1-6.　施設内の案内や看板サインは十分でしたか？施設内にあると便利だと思う看板はありますか。

□1.　看板は十分だった
□2.　あると便利だと思う看板

1-7 会場で欲しいと思った情報はなんですか？

□避難場所など緊急対応について　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない
□周辺の観光情報　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない
□会場から観光施設への移動方法　１．ぜひ欲しい　２．有ると良い　３．特に必要ない
□その他（　　）

□施設内や観覧する時に、困ったこと、また楽しむために必要と思われることを書いてください。

2. ポロトコタンのＰＲポイントの抽出

2-1.「ポロトコタンの夜」の一番の魅力は何でしたか。

2-2. ご自分の出身国の観光客に対して「ポロトコタンの夜」をＰＲするとしたら、何を PR しますか？
ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることは何ですか。（いくつか挙げてください）

2-3. 「ポロトコタンの夜」で満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4. その他観覧した感想や、外国人観光客を呼ぶためのアイディアを書いてください。

「ポロトコタンの夜」　アンケート票

■お名前：

1「ポロトコタンの夜」を観覧して良かったところ、魅力を感じたことは何ですか。

2. ご自分の出身国の観光客に対して「ポロトコタンの夜」をＰＲするとしたら、何を PR しますか？ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることは何ですか。（いくつか挙げてください）

2-3. 「ポロトコタンの夜」で満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4. その他、感想や、外国人観光客を呼ぶためのアイディアがありましたらお書きください。

ポロトコタンの夜　観光客インタビュー票

■モニター氏名：

インタビュー回答者について

1 性別：□男性　□女性　2.出身国：＿＿＿＿（□日本在住:＿＿＿＿＿市町村 ）

3.年代：□10 代　□20 代　□30 代　□40 代　□50 代　□60 代　□70 代以上

4.旅行形態：□個人旅行（家族・友人・1 人・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

□団体旅行

5.今回の旅行の予定をお聞かせください。

（□期間：　　日間　□訪問地：　　）

6.今回の旅行の目的をお聞かせください。（例：祭りに参加、花を見る、温泉など）

（　　）

1.ポロトコタンの夜は楽しかったですか。

1.楽しい　2.まあまあ楽しい　3.どちらとも言えない　4.あまり楽しくない　5.楽しくない

「ポロトコタンの夜」の魅力・良かったところ	残念なところ

2.ポロトコタンの夜の情報はどこで知りましたか。

□インターネット（サイト名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）　□旅行会社

□旅行ガイドブック（ガイドブック名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

□観光案内所・ホテルなど（場所＿＿＿＿＿＿＿＿）　□知人から聞いた

□その他［　　］

3.観覧中や会場で困ったことや不便に思ったことはありましたか？

イオマンテの火まつり　モニター調査　調査票

■モニター氏名：　　■言語：

1. 整備内容（情報提供）の検証～改善の可能性の抽出

1-1.　映像による外国語表記はわかりやすかったですか。

1-1-1　文章表現

□1.　非常にわかりやすかった
□2.　まあまあ、わかりやすかった
□3.　わかりにくかった
□4.　非常にわかりにくかった

（わかりにくかったと答えた方へ）
具体的にどこがわかりにくかったかを教えてください。

1-1-2　文字の見え方

□1.　よく見えた
□2.　あまりよく見えなかった
□3.　ほとんど見えなかった

（見えなかったと答えた方へ）
具体的に、どのような改善を行えばいいと思いますか。

1-2.　全体として、「イオマンテの火まつり」の内容は理解できましたか?

□1.　よく理解できた
□2.　まあまあ理解できた
□3.　あまり理解できなかった
□4.　ほとんど理解できなかった

（理解できなかったと答えた人に）
その理由は何ですか。

1-3.　このような映像による外国人へのサービスは効果的だと思いますか。

□1.　非常に効果的である
□2.　まあまあ効果的である
□3.　あまり効果的でない

（効果的でないと答えた人に）
効果的でないと思った理由をお書きください。また、他に効果的な方法があればご提案ください。

1-4.　そのほか、イオマンテの火祭りを見学する際、何か不便を感じたことはありました。
もしありましたら、それを具体的にお書きください。また、その改善方法があればご提案ください。

1-5. まつり会場ならびに観光案内所の看板などに誤訳や違和感のある表現はありましたか。

□1. 特になし
□2. あった

間違っている表現	適切な表現

1-6. 会場で欲しいと思った情報はなんですか？

□避難場所など緊急対応について	１．ぜひ欲しい	２．有ると良い	３．特に必要ない
□周辺の観光情報	１．ぜひ欲しい	２．有ると良い	３．特に必要ない
□会場から観光施設への移動方法	１．ぜひ欲しい	２．有ると良い	３．特に必要ない

□2 日間を通して、困ったこと、必要と思われる情報や施設を書いてください。

2. 祭りのＰＲポイントの抽出

2-1. イオマンテの火まつりで楽しかったこと、魅力を感じたことは何ですか。具体的に書いてください。

2-2. ご自分の出身国の観光客に対してイオマンテの火まつりをＰＲするとしたら、何を PR しますか？
ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることをいくつかあげてください。

2-3. イオマンテの火まつりで満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4. その他まつりに参加した感想や阿寒湖の印象、外国人観光客を呼ぶためのアイディアを書いてください。

イオマンテの火まつり　観光客インタビュー票

■モニター氏名：

インタビュー回答者について

1 性別：□男性　□女性　2.出身国：_____（□日本在住:_____市町村 ）

3.年代：□10 代　□20 代　□30 代　□40 代　□50 代　□60 代　□70 代以上

4.旅行形態：□個人旅行（家族・友人・1 人・その他_____）

□団体旅行

5.今回の旅行の予定をお聞かせください。

（□期間：　　日間　□訪問地：　　）

6.今回の旅行の目的をお聞かせください。（例：祭りに参加、風景観賞、温泉など）

（　　）

1.祭りは楽しかったですか。

1.楽しかった　2.まあまあ楽しかった　3.どちらとも言えない　4.あまり楽しくなかった　5.楽しくなかった

お祭りの楽しいところや魅力	残念なところ

2.イオマンテの火まつりの情報はどこで知りましたか。

□インターネット（サイト名_____）　□旅行会社

□旅行ガイドブック（ガイドブック名 _____ ）

□北海道（阿寒湖）の観光案内所・ホテルなど　□知人から聞いた

□その他［　　］

3.お祭り会場で困ったこと、不便に思ったことはありましたか？

イオマンテの火まつり　アンケート票

■お名前：

1. イオマンテの火まつりで楽しかったこと、魅力を感じたことは何ですか。

2. ご自分の出身国の観光客に対してイオマンテの火まつりをＰＲするとしたら、何をＰＲしますか？
ご出身国の皆さんにとって最も魅力的と思われることをいくつかあげてください。

2-3. イオマンテの火まつりで満足度が低かったこと、残念だったことはありますか

2-4. その他祭りに参加した感想や阿寒湖の印象、外国人観光客を呼ぶためのアイディアなどがありましたらお書きください。

イオマンテの火まつり

2010·10·1

チャプター番号	タイム	動き・セリフ	音・光
1	9：00 9：10	開場 皆様、こんばんは!! イオマンテの火まつりとは、火の女神である、人間を育ててくれる神を囲んで、祖先から何百年以上も昔から伝えられたアイヌの踊りや唄等を皆様と一緒に楽しむイベントです。 火も水も空気も森も湖もすべて、人間を育んでくれる神として、アイヌは敬ってきました。 今日は皆様と共に、神達に感謝の唄と踊りを捧げたいと思います。 最後までゆっくりお楽しみ下さいませ。 開演	～暗転～ ヌサ・熊の檻・ウス・ブー
2	マイクMC 開演の挨拶	皆様こんばんは、本日はようこそ、阿寒湖アイヌコタンへお越し下さいまして誠に有難う御座います。只今より、イオマンテの火まつりを開催いたします。	
		ウココセ	火の儀式 タイマツ男２方向から登場
	B－1 エカシ		フクロウ神にカッター
3	**A－1** フクロウ	ホーッホーッ ワシは、雄阿寒岳の頂きに住むフクロウじゃ！ 人間からは、コタンコロカムイ、国の守り神、村の守護神と言われておるのじゃ！ ここいらでは一番高い山、立派な男の山、雄阿寒岳の天に向かって聳え立つ、エゾマツの上に立って、北は樺太、南は太平洋の彼方、西は大雪山を越えて日本海、東は国後・択捉の向こうまで見渡す事が出来る。 そのワシの眼でもって、昼も夜も人間の国、人間の大地を見守っておるのじゃ！ 火の女神、火の大神様がワシを呼んでいるので、こうして阿寒の村に降りて来たのじゃが、はて、何の用向きかのう？	**CDテーマ曲入れる** **（音小さめに）** 鮭を持つ者 山菜を持つ者
4	**A－2** フクロウ	火は、人間に暖をとらせる大切な役目をもっている神じゃ！今日も火の老婆、火の女神がおられて、人間を暖かく育てておられる。	※フクロウ·セリフ終ったら直ぐ出る!!（ク・リムセ）

	タイム	動き・セリフ	音・光
	マイク	≪生歌≫♪　イヤコーコー	※間を開けず直ぐ唄う!!
5	**A－3** フクロウ	ホ～ウ、今日は、村の狩人が山に行く日じゃなぁ～ しばらく見ておるかのう・・・。	舞台の下広場で踊る
6	**A－4**フクロウ	♪　イヤコーコー 木の上に鳥がおる・・・お～ぉ真っ白い美しい鳥じゃ・・・	矢を構えたら入れる
7	**5**フクロウ	♪　ネイタロックチカップ 木から木に飛び移って、踊っているようじゃ～・・・	左右に移動したら入れる
8	**6**フクロウ	♪　イヤコウコウ　カニクニ　キアン あの神の鳥に狩人は矢を放つことは出来るのかのう・・・	正面に構えたら入れる
9	**A－7** フクロウ	さすがはアイヌじゃ！心の美しい人間じゃ！ あの鳥が舞を舞ってくれている事に気づいて、打つことを止め、礼拝をして帰って行った・・・。	オンカミ横向いたら入れる！
１０	マイク２本	ムックリ（２名）アイヌの民族楽器、口琴。	
１１	マイク	トンコリ（１分）ｶﾗﾌﾄｱｲﾇの民族楽器。	
１２	マイク 酒濾しの踊り	≪録音≫ ♪酒濾しの踊り	

１３	**A－8** フクロウ	さぁ、あのもろみ酒は、うまく仕上がっておるのかの～	
１４	**A－9** フクロウ	おお、いい匂いがして来たの～	舞台ではシントコの周りで匂いを嗅ぐ仕草・メノコ３人
１５	カムイノミ	**CDテーマ曲入れる（音小さめに）** カムイノミ（和訳）火の神よ、火の女神よ、上座に長老、下座に老婆、我らこの村のアイヌ一同、天上に住まう神々に、奥山に住まう神々に、もの申し上げます。　沢山の木の実、山菜が採れ、熊や鹿、沢山の獣が居るのは、これ全て、神々の取り計らいによるものです。　天からくだされたものに、何一つ無駄なものは無く、アイヌ人間は、神々の自然の恵みによって、育てられているのです。 これからも、地上の国、人間の国土に自然界の神々がいつも目を向けられて、生活の糧、生業の糧を護り、導きたまえ。　溜みかしこみ、感謝申し上げるものです。	歌舞手女下がったら 歌舞手男お酒をついで カムイノミ
１６	**A－10** フクロウ	そうかそうか、ワシの為に祈ってくれたのか！それでは、 ワシも益々張り切って仕事をせねばならんのう～	※カムイノミ正面でお神酒を呑んだら入れる!
	マイク	♪ア～へ～エ～　♪ホ～イホ～オ～	整列
１７	**A－11** 鶴の舞	丹頂鶴の踊りです。	舞台
１８ １９	**A－11** 剣の舞	魔をはらう剣の踊りです。 あの刀は、わしに勝るとも劣らない魔を払う力を持っている。	舞台下の広場
２０	**A－11** フックン	黒髪の踊りです。	舞台
２１	マイクＭＣ 踊り比べ	≪生　歌≫ ≪踊りへの誘導≫ それでは、皆様にも一緒に楽しんで参加して頂きたいと思います。エッサホーホー踊り比べです。この踊りは、イオマンテなどお祭の時、誰かが倒れるまで競い合って踊る踊りです。踊り子さんの真似をするだけで簡単に踊れますので、旅の思い出に是非、ご参加頂きたいと思います。 尚、本日は、皆様が倒れるまでは踊りませんので、安心してご参加下さいませ。 ♪エッサ～ホォ～ホォ～　ハフイヤ～ホォ～ホォ～ 踊りへのご参加有難う御座いました。この踊りにご参加下さいました皆様には、『特に幸せになる』と言い伝えられております。	フックン終了後、歌舞手、舞台下広場へ降りる。 直ぐ唄!!
２３	**A－13** フクロウ	今日は本当に楽しかった。 人間の国、人間の大地が何時までも平和で暮らしていけるように大空から見守っておりますぞ～!	**CDテーマ曲入れる（音小さめに）** 整列
２４	**A－14** 終演挨拶	皆様、本日のイオマンテの火まつりは、いかがでしたでしょうか。 私達が、日頃親しみ、又、イオマンテの時や儀式の際に、自然界の神々に奉納する唄や踊りを紹介させて頂きました。 今夜の公演を通して、私達アイヌ民族の伝統文化、生活観をご理解頂けましたら大変嬉しく思います。 ご縁があって、同じ時を過ごされました皆様方の益々のご幸運をお祈りし、感謝の気持ちを込めて、アイヌ式の礼拝でお別れしたいと思います。 オンカミアンナー　　ヤイライケレ～	